

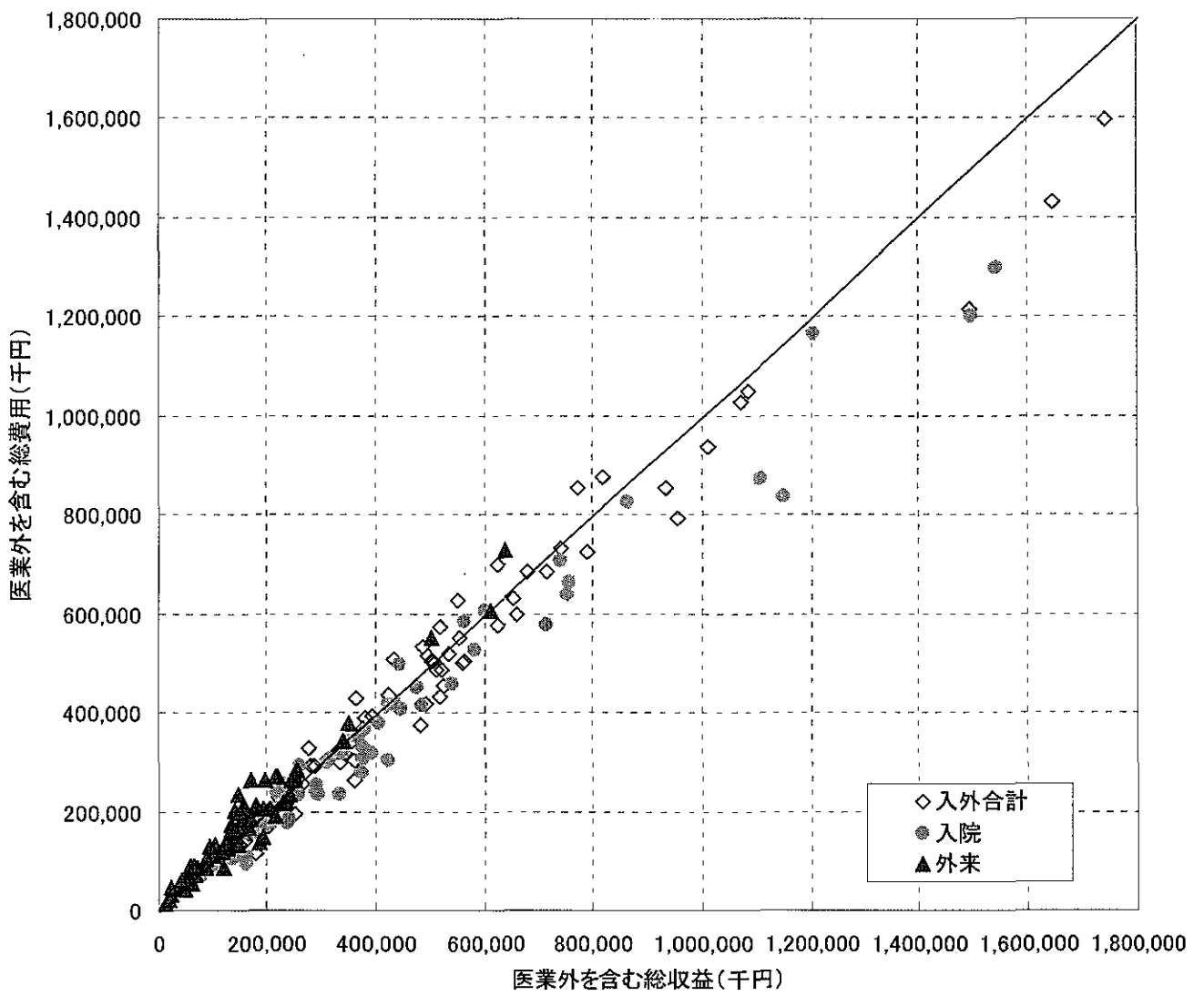
医療機関の部門別収支に関する調査研究

平成18年度調査研究結果報告（案）

資料編

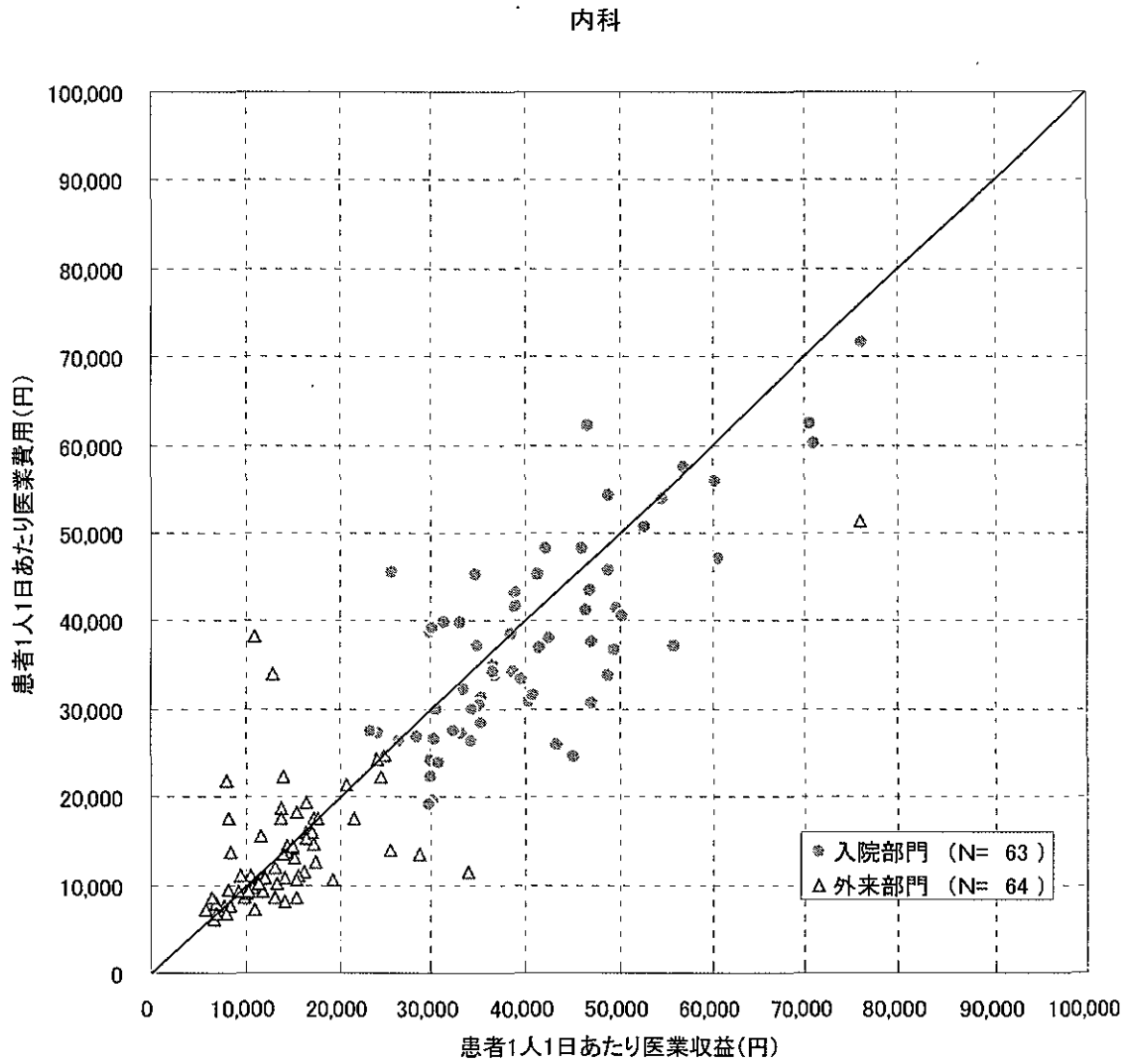
(資料1) 医業外を含む収益／費用分布	資料1-1
(資料2) 診療科別医業収益／医業費用分布	資料2-1
(1) 内科	資料2-1
(2) 精神科	資料2-2
(3) 神経内科	資料2-3
(4) 呼吸器科	資料2-4
(5) 消化器科	資料2-5
(6) 循環器科	資料2-6
(7) 小児科	資料2-7
(8) 外科	資料2-8
(9) 整形外科	資料2-9
(10) 形成・美容外科	資料2-10
(11) 脳神経外科	資料2-11
(12) 心臓血管外科	資料2-12
(13) 皮膚科	資料2-13
(14) ひ尿器科	資料2-14
(15) 産婦人科	資料2-15
(16) 婦人科	資料2-16
(17) 眼科	資料2-17
(18) 耳鼻いんこう・気管食道科	資料2-18
(19) 放射線科	資料2-19
(20) 麻酔科	資料2-20
(21) リハビリテーション科	資料2-21
(資料3) 事前調査票	資料3-1
(資料4) 部門設定調査票	資料4-1
(資料5) 一般原価調査票	資料5-1
(資料6) 事後調査票	資料6-1
(資料7) 等価係数の取扱	資料7-1
(資料8) 事後調査集計結果	資料8-1

(資料1) 医業外を含む収益／費用分布

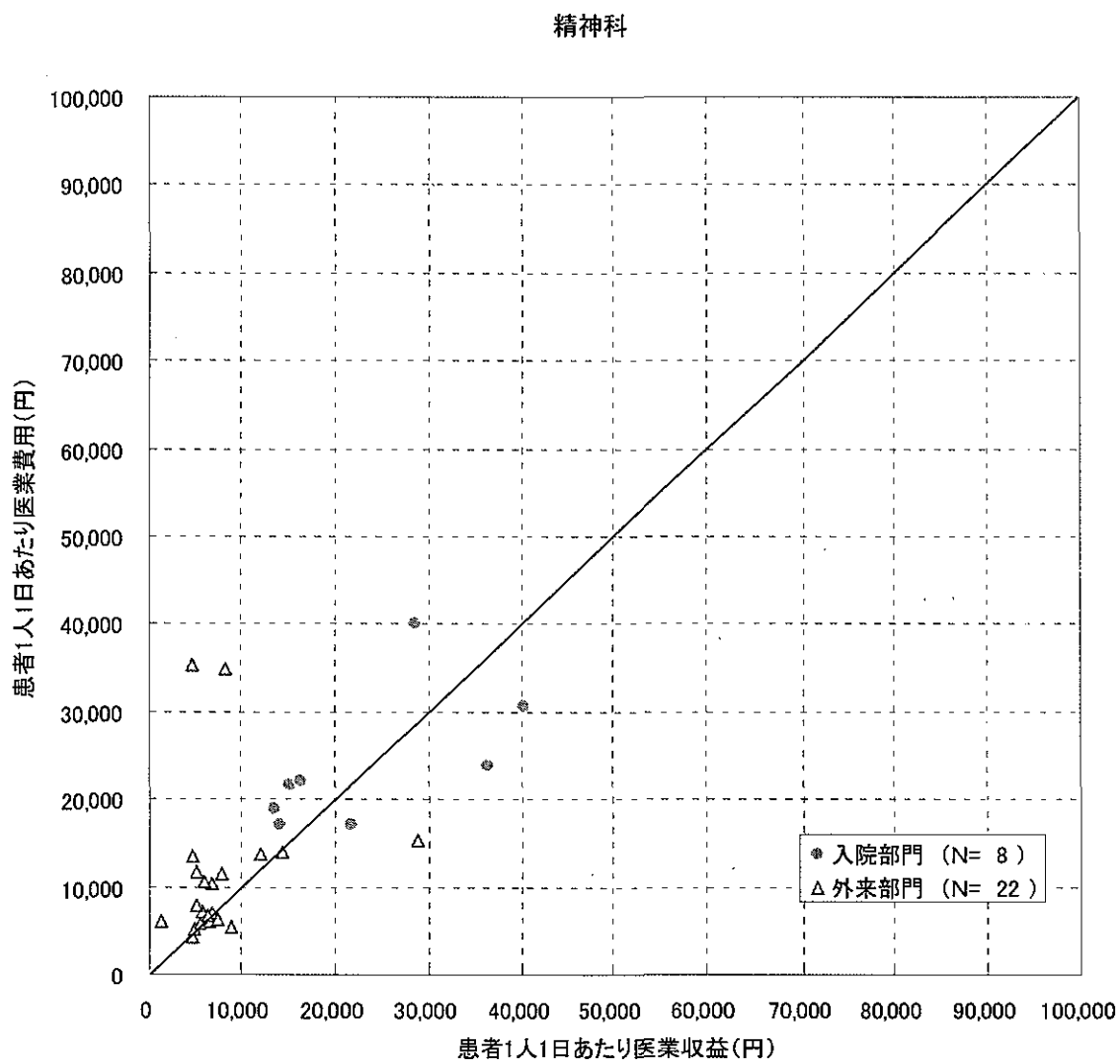


(資料2) 診療科別医業収益／医業費用分布

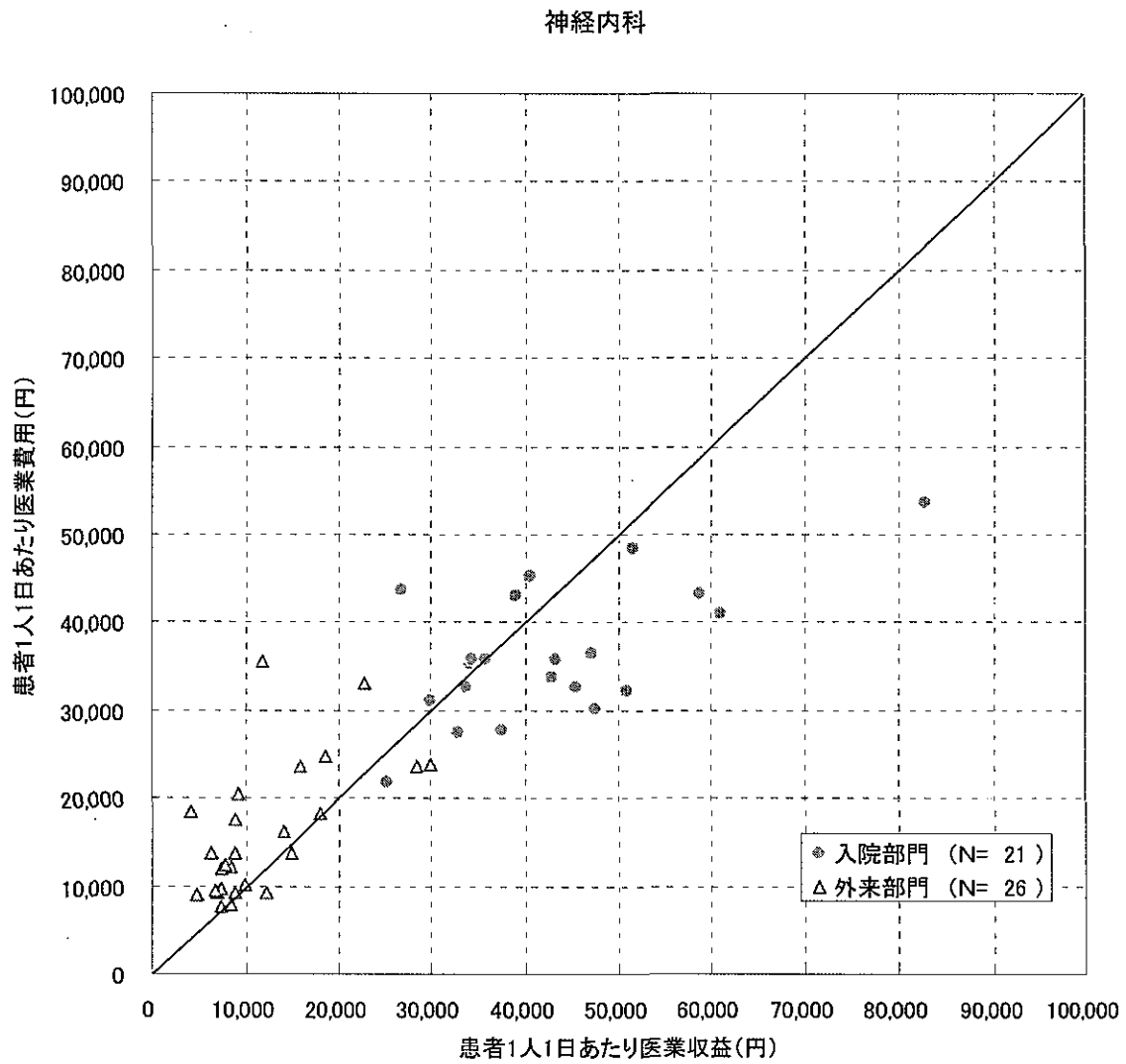
(1) 内科



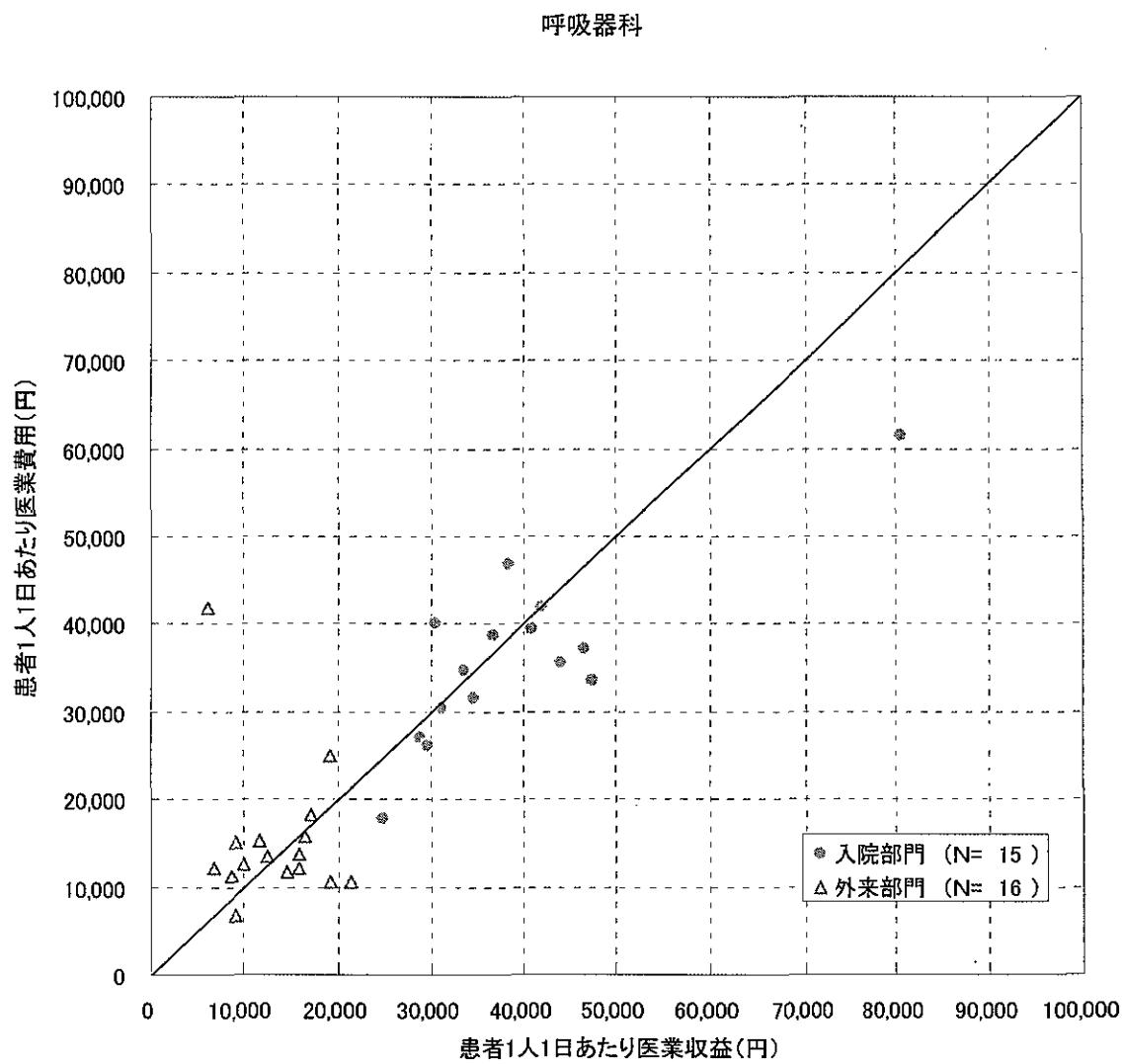
(2) 精神科



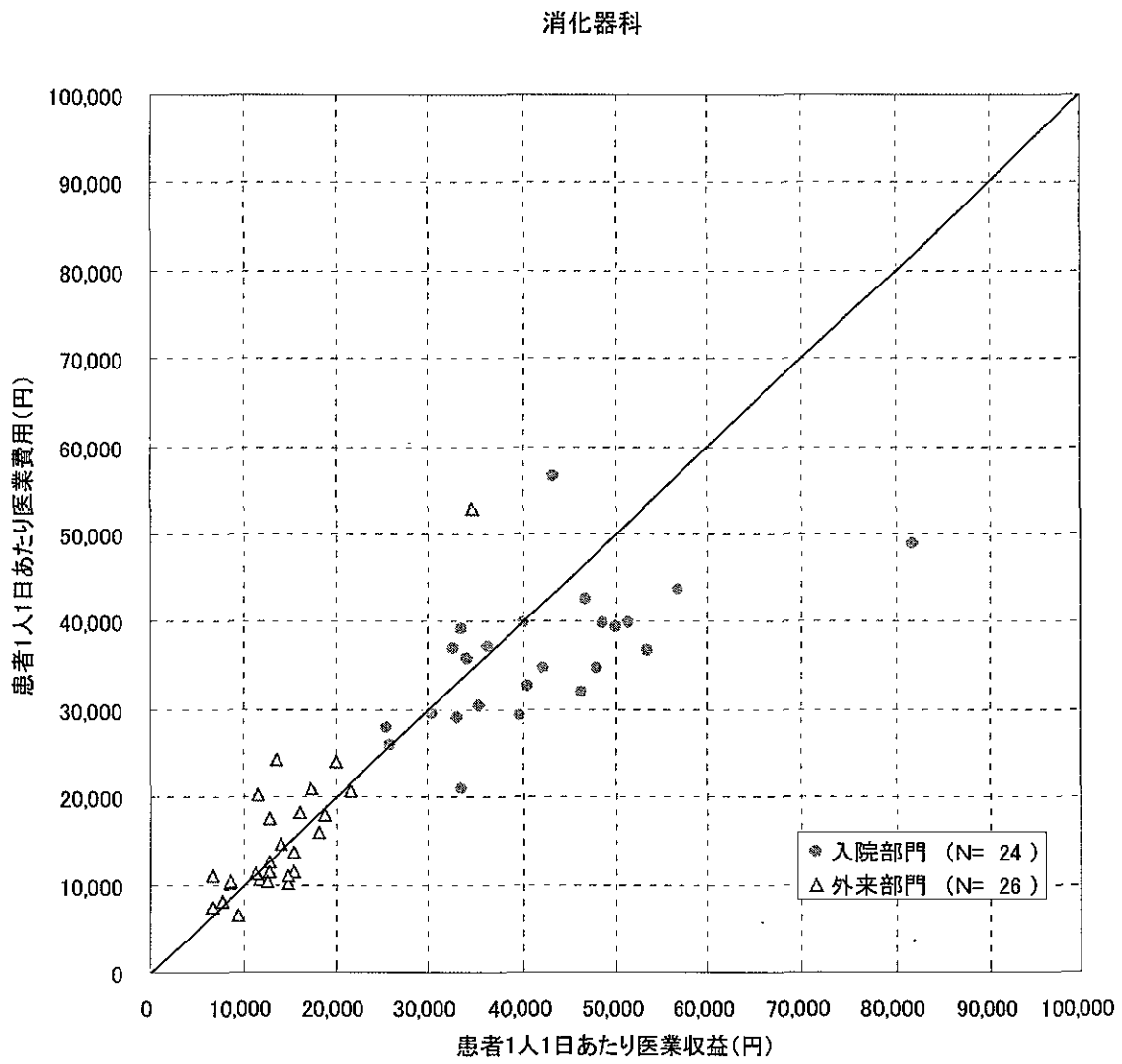
(3) 神経内科



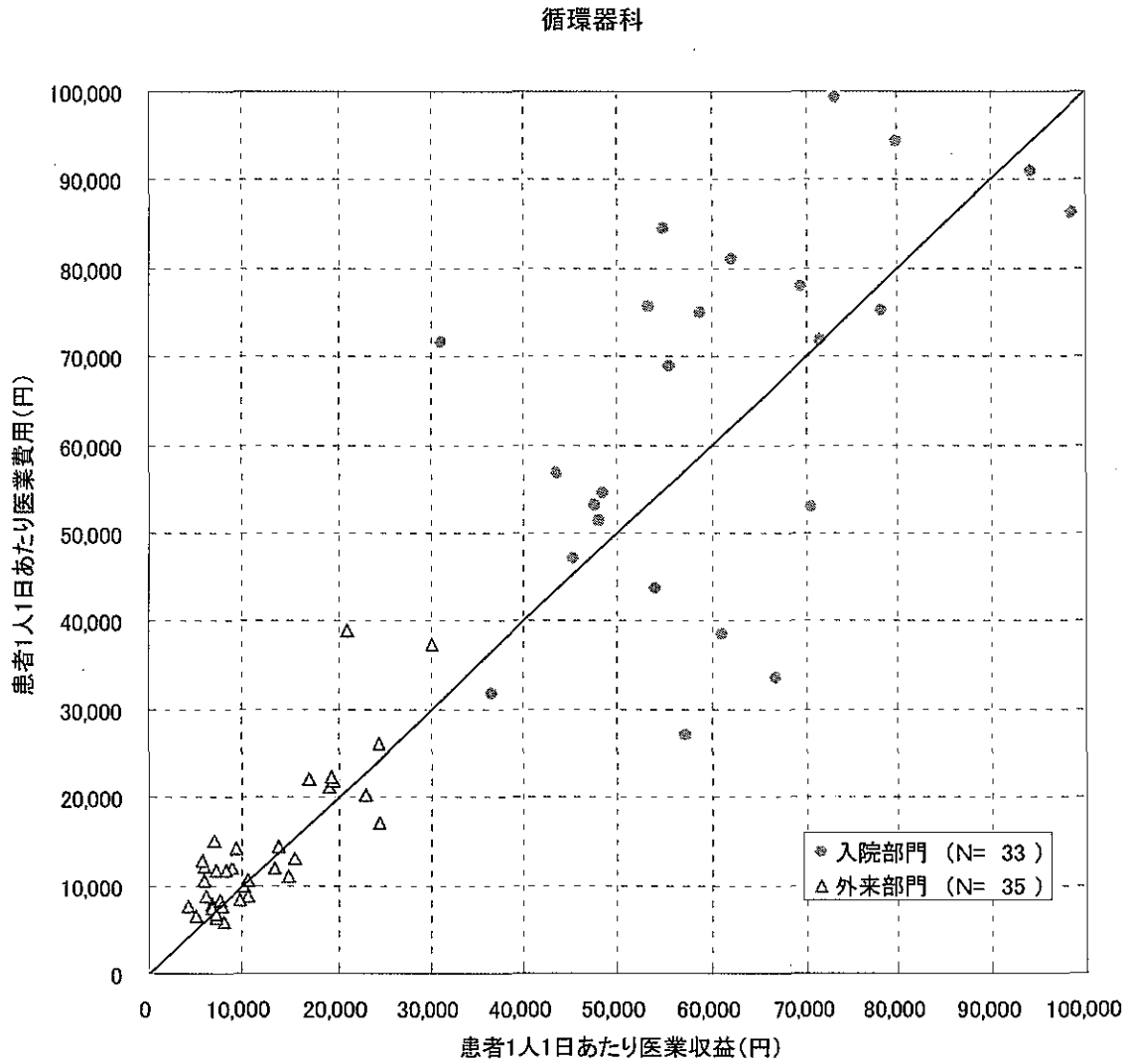
(4) 呼吸器科



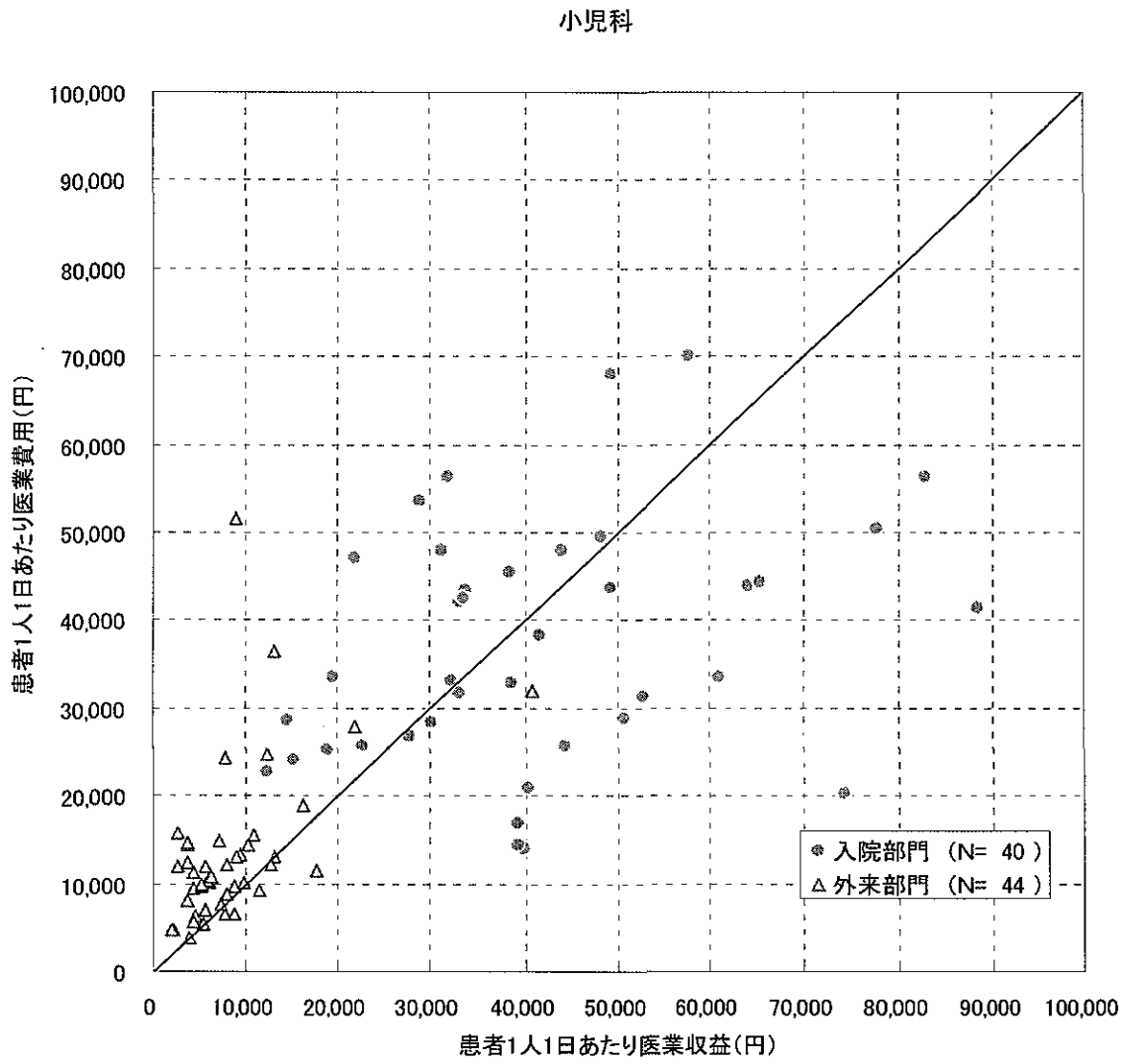
(5) 消化器科



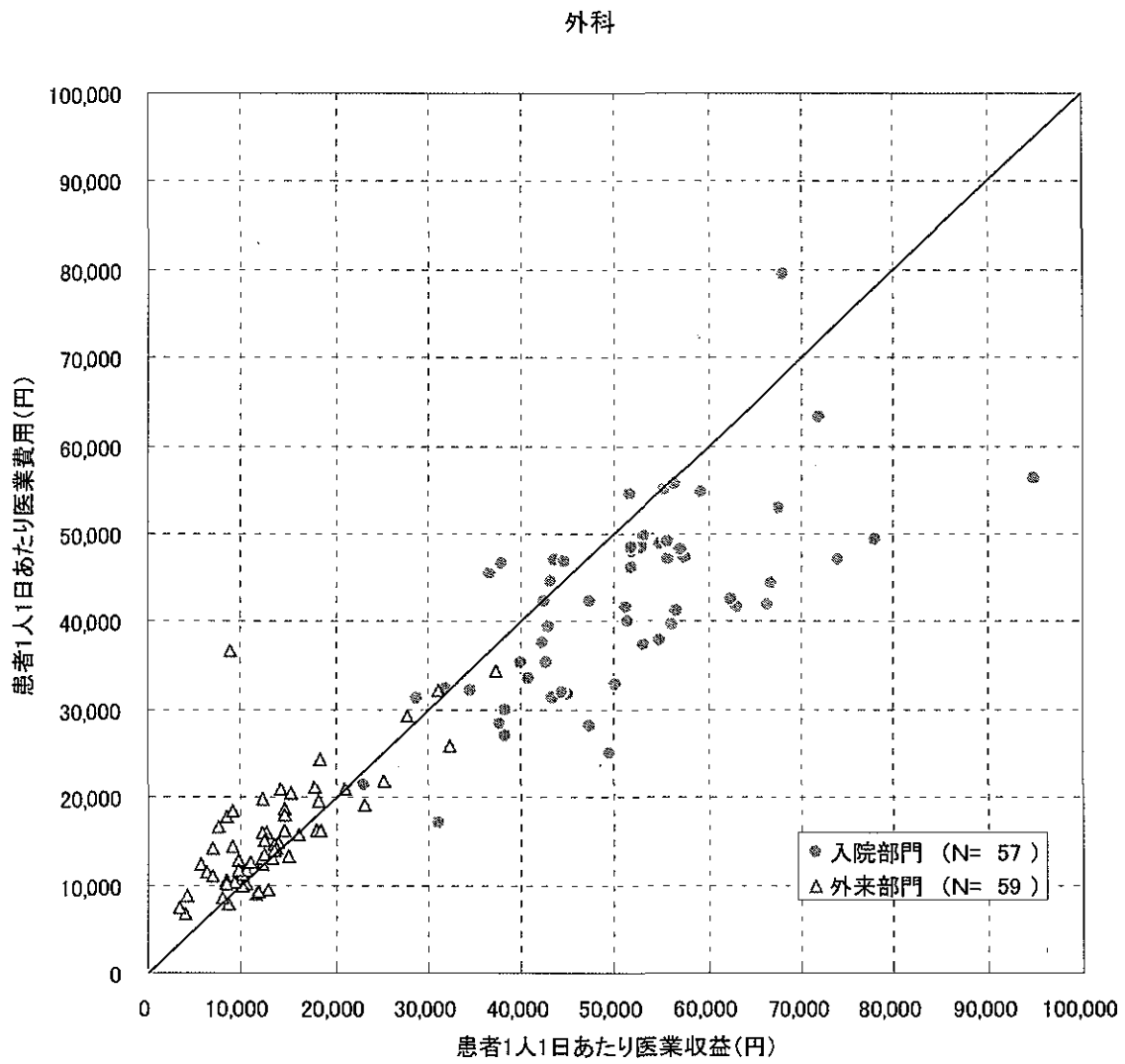
(6) 循環器科



(7) 小児科

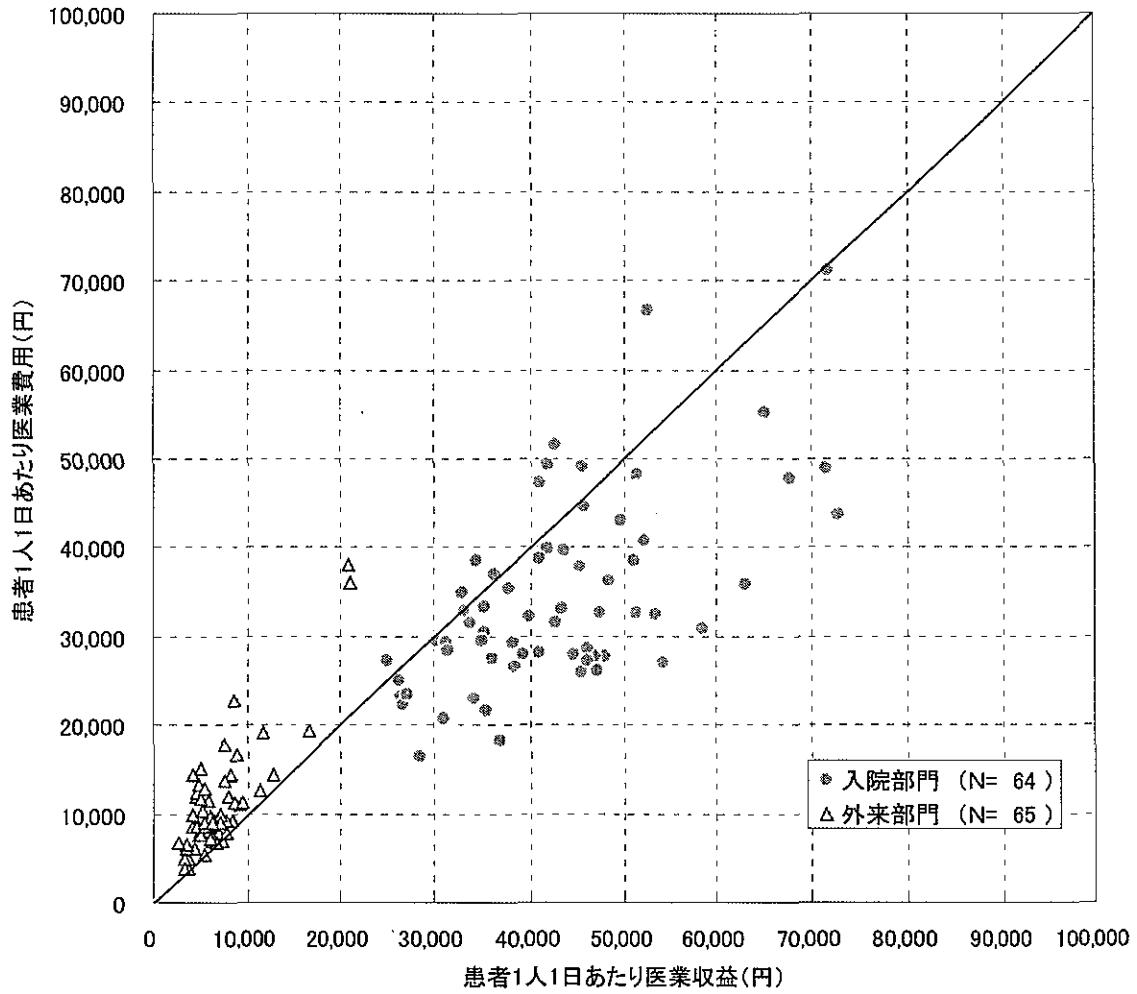


(8) 外科



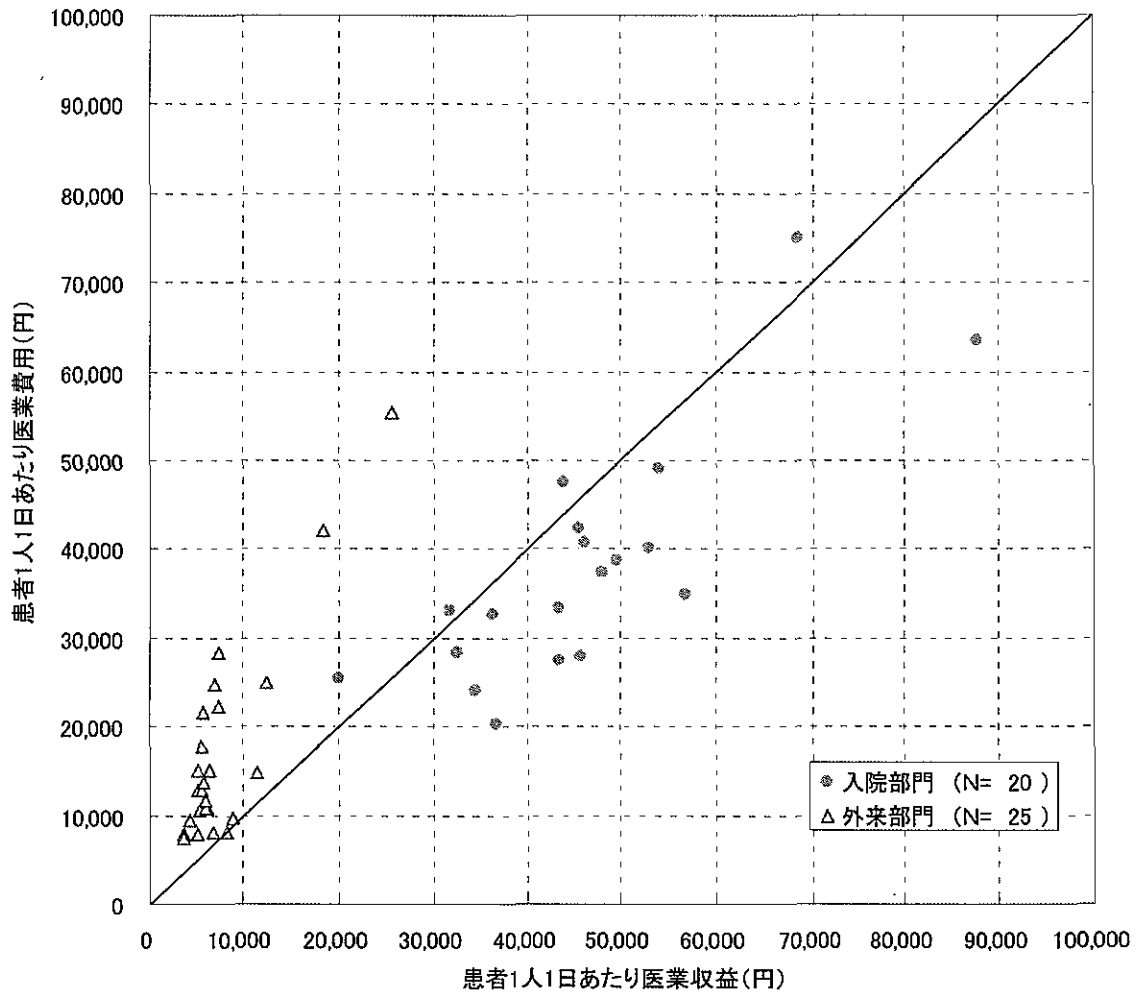
(9) 整形外科

整形外科



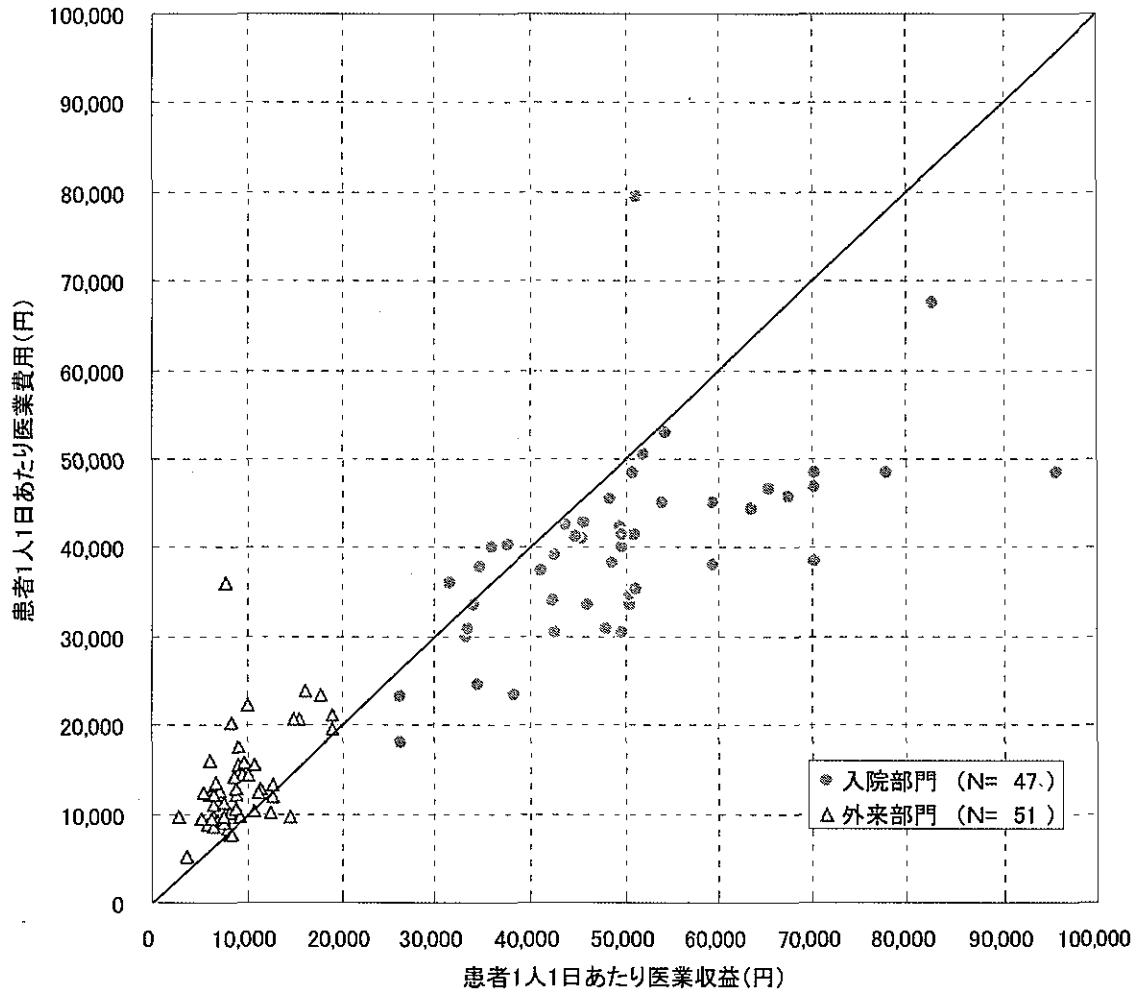
(10) 形成・美容外科

形成・美容外科

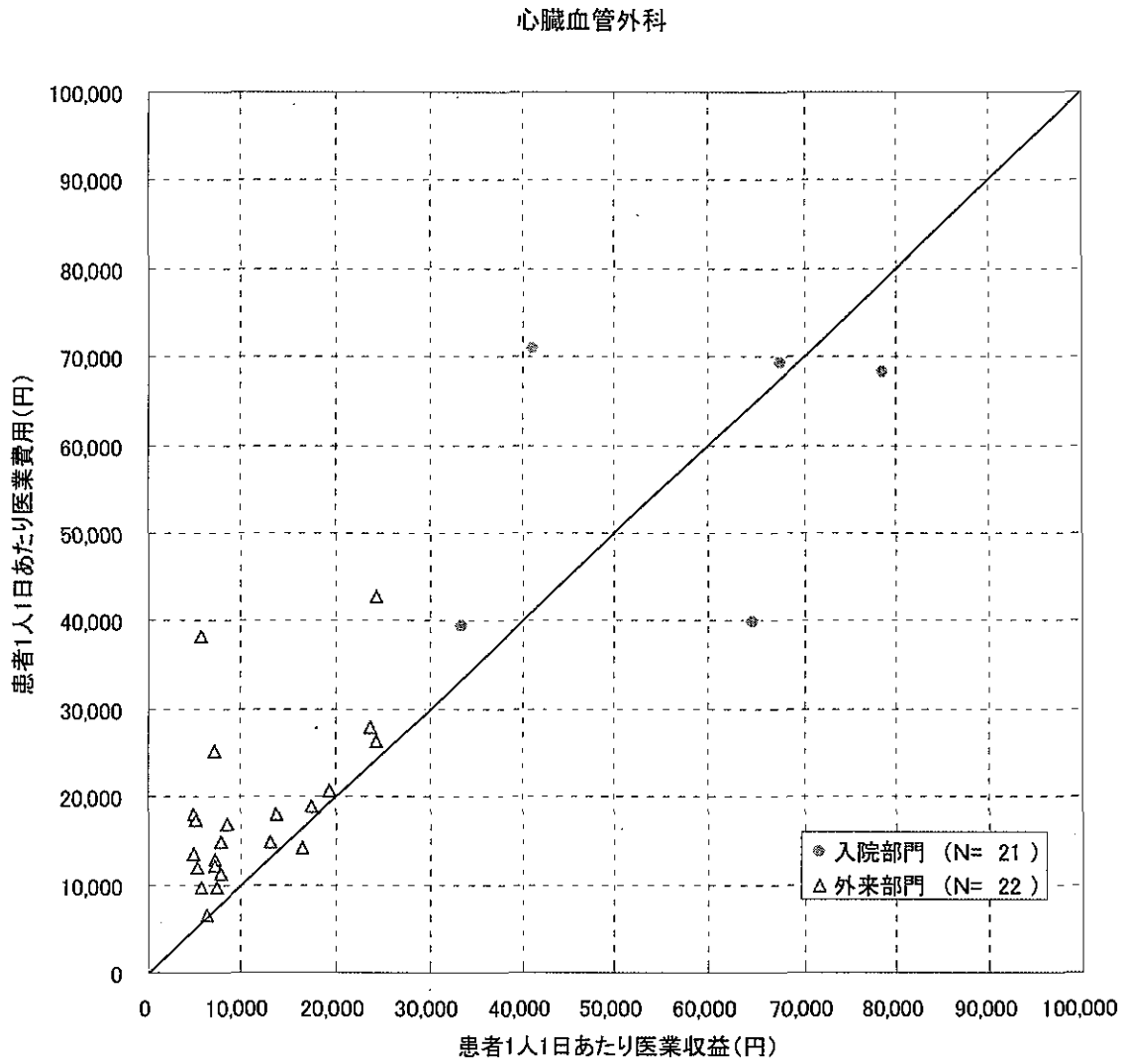


(11) 脳神経外科

脳神経外科

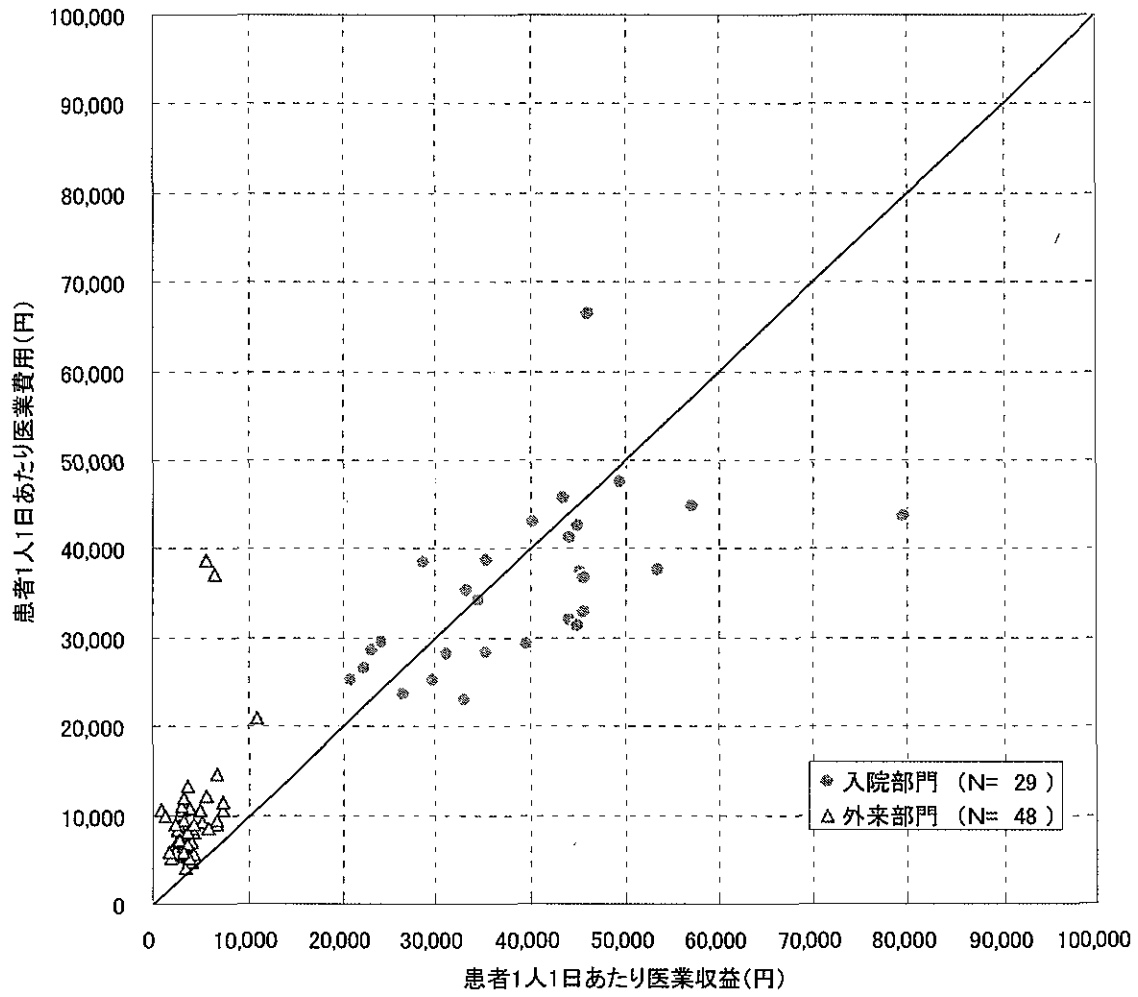


(12) 心臓血管外科



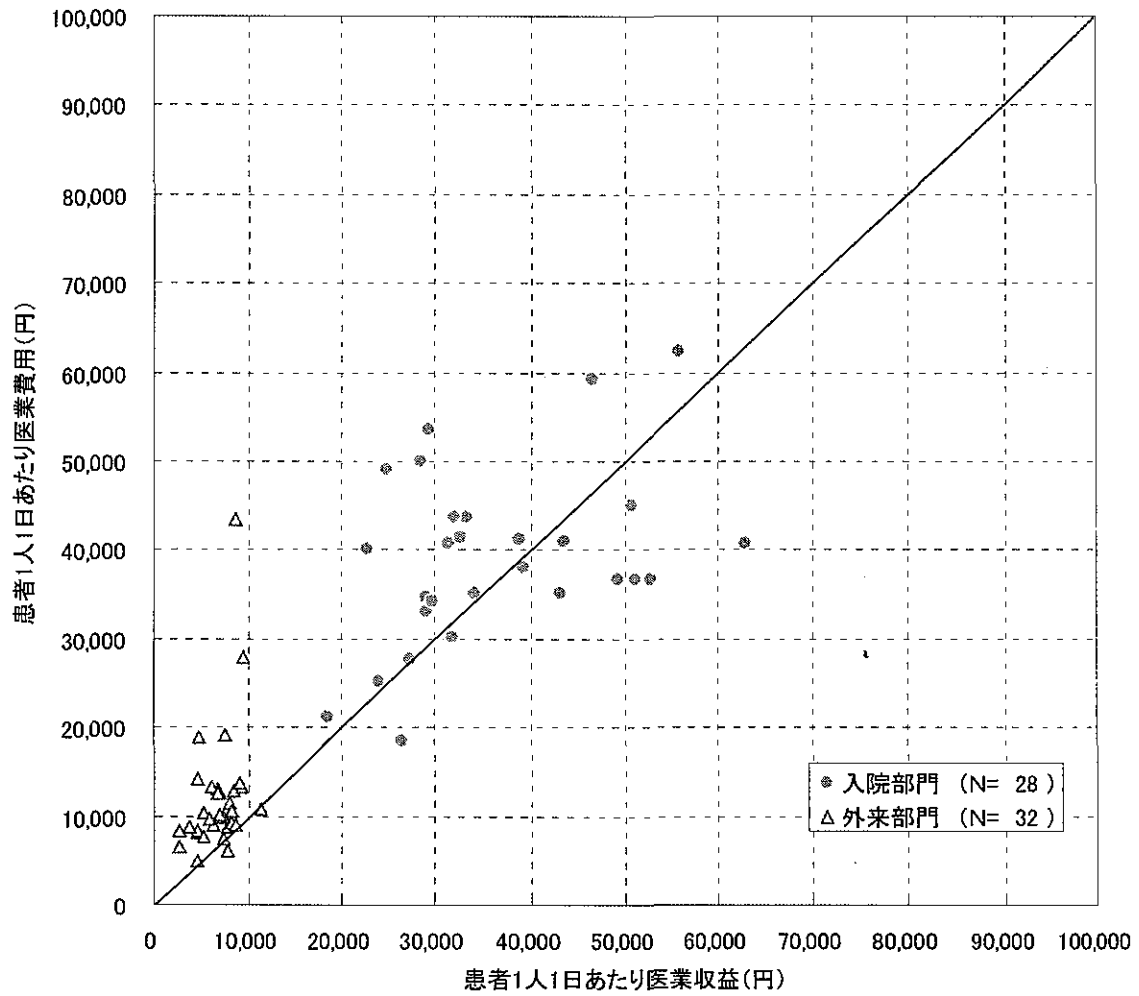
(13) 皮膚科

皮膚科



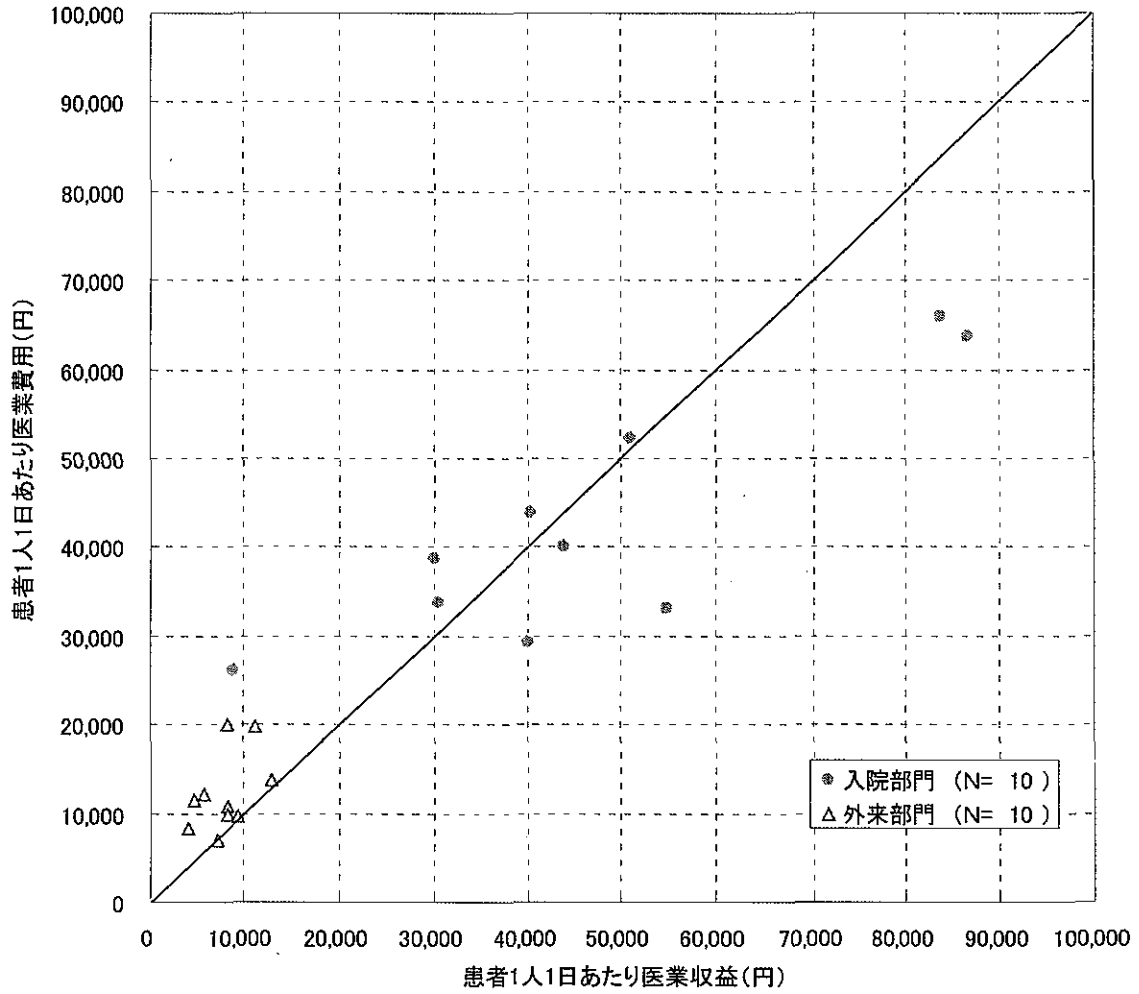
(15) 産婦人科

産婦人科



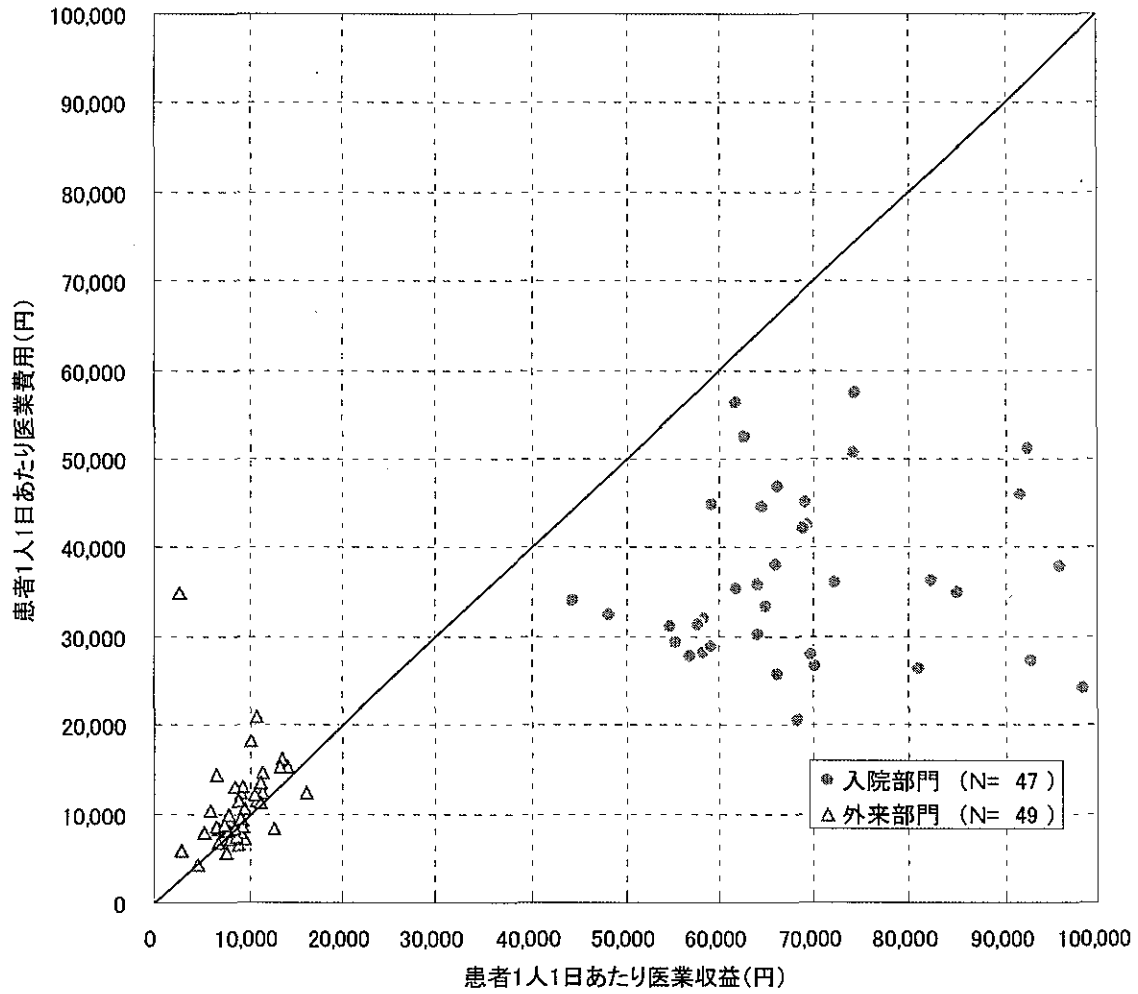
(16) 婦人科

婦人科

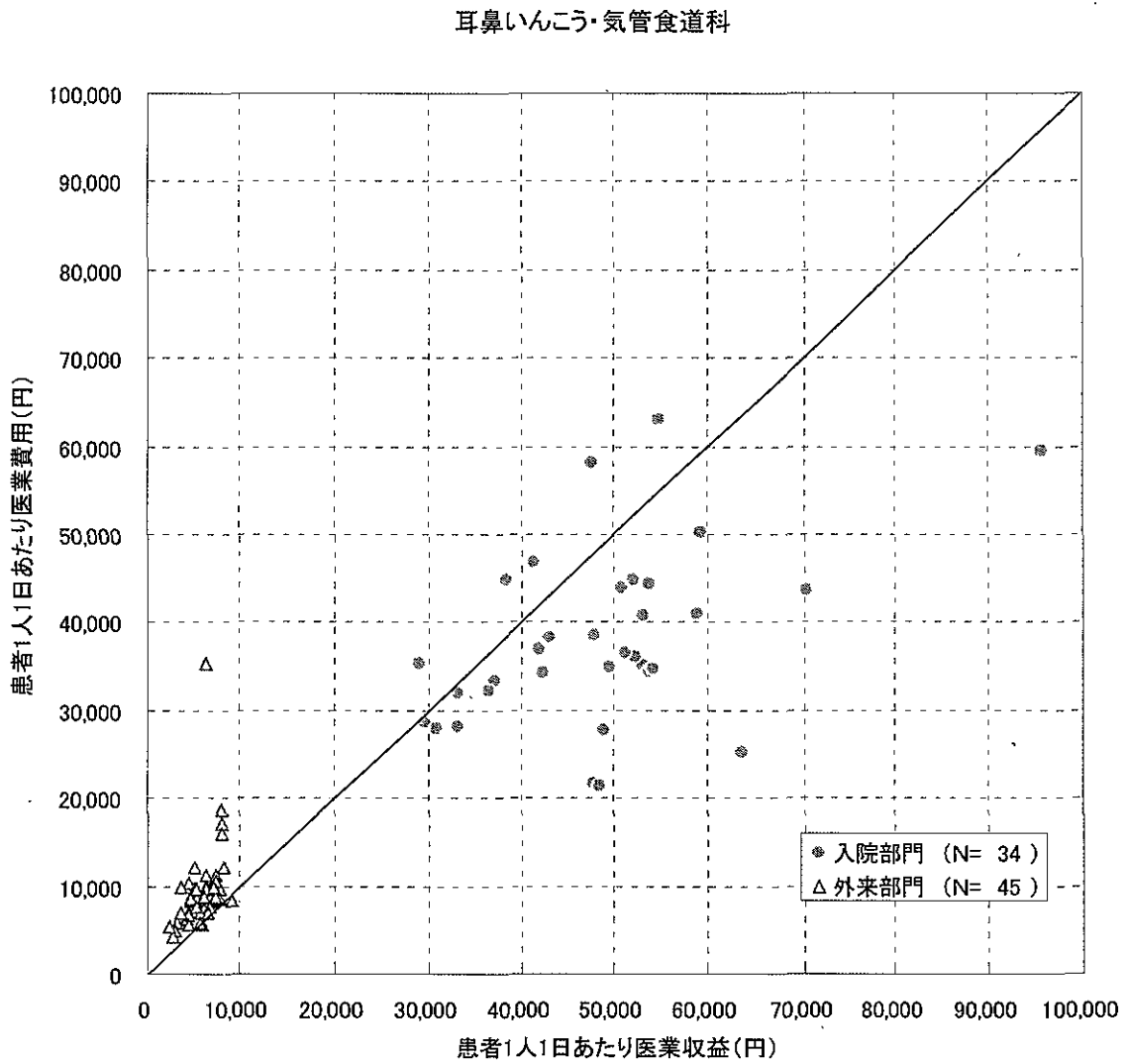


(17) 眼科

眼科

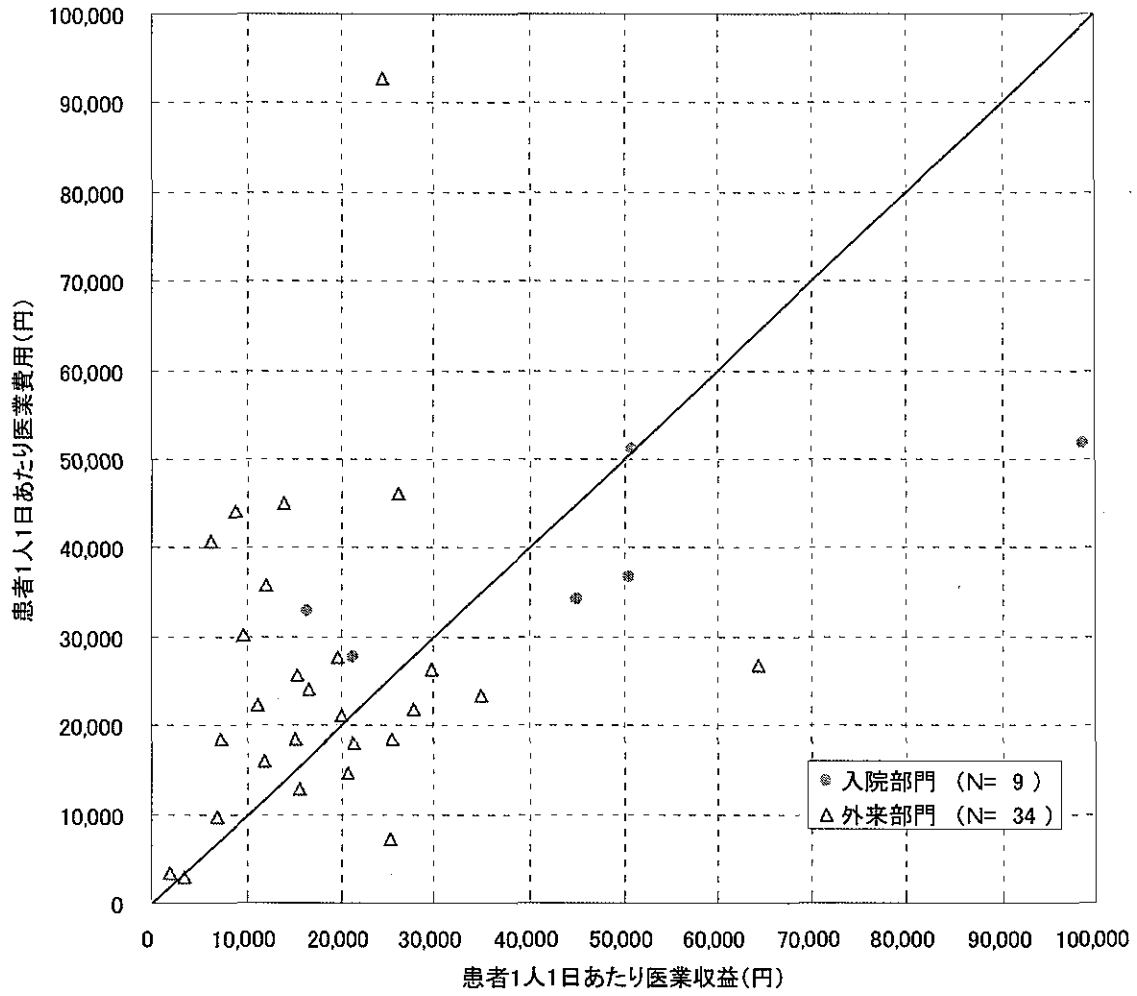


(18) 耳鼻いんこう・気管食道科

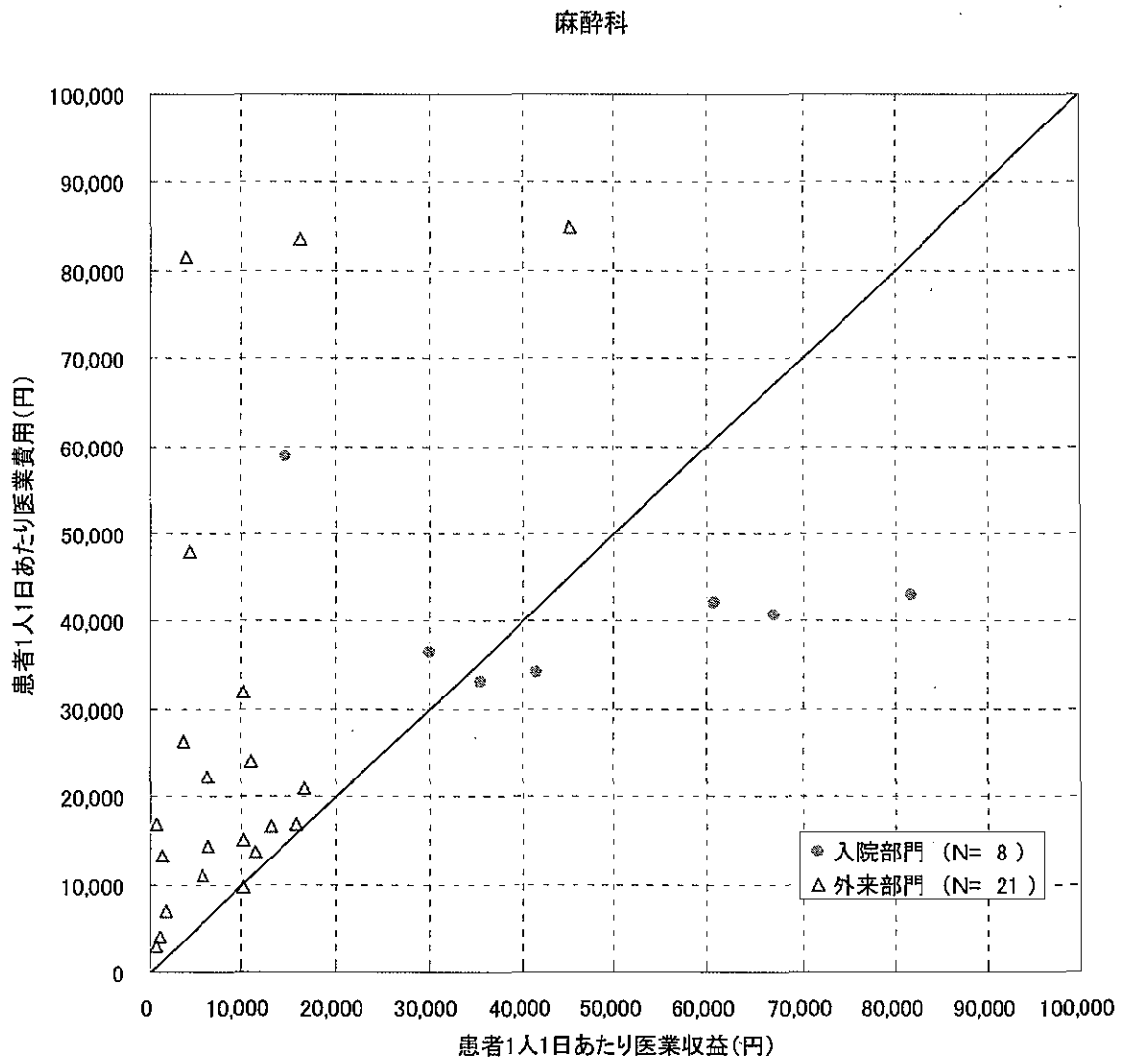


(19) 放射線科

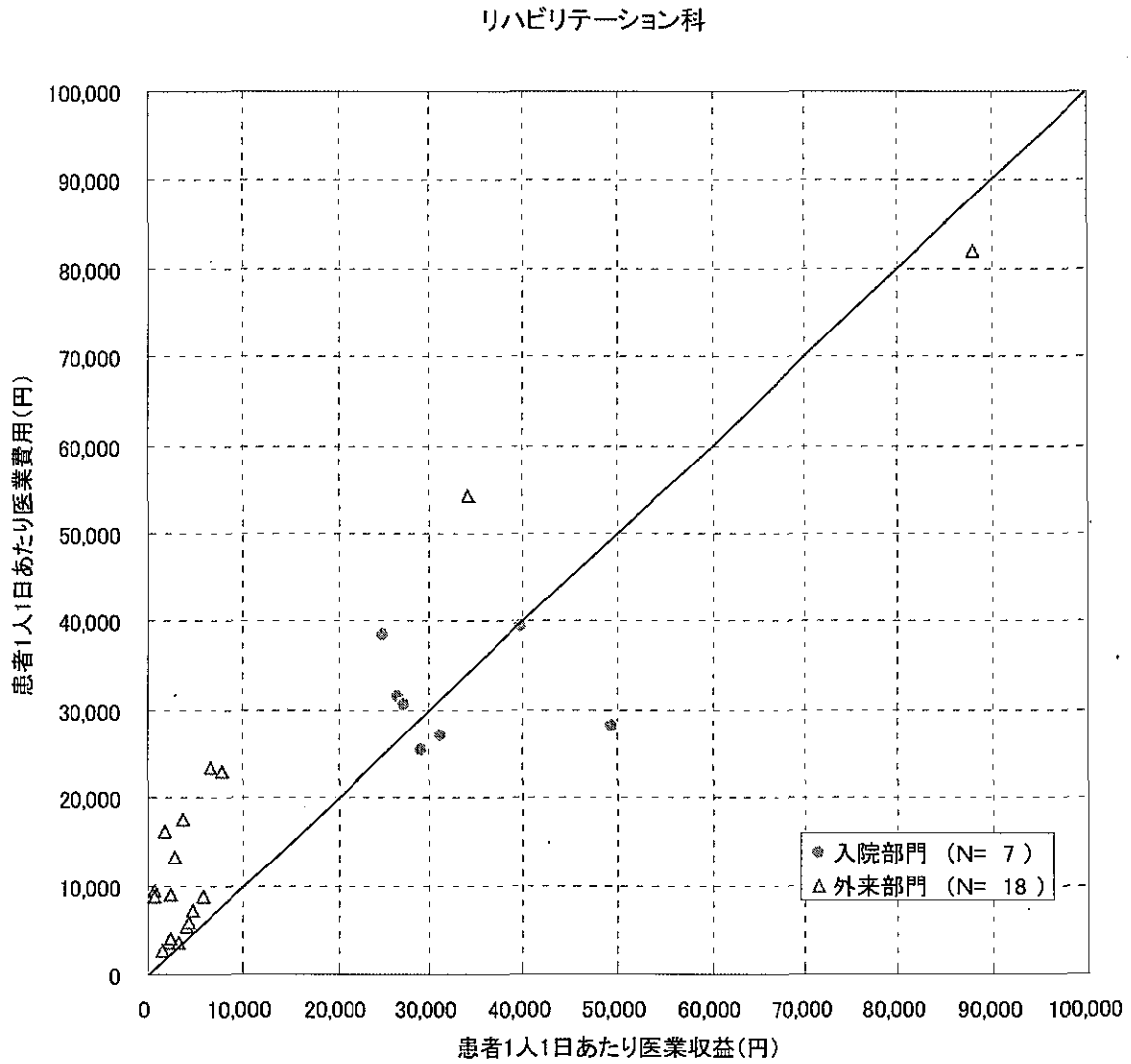
放射線科



(20) 麻酔科



(21) リハビリテーション科



(資料3) 事前調査票

平成18年 月 日

財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
部門別収支調査事務局 行

医療機関の部門別収支に関する調査研究 事前調査

1. 貴院に調査をお願いした場合、ご提出いただくデータは、どの程度把握できる状態でしょうか。
各調査項目について、先般電子メールにてお送りした実施要綱をご参照の上、以下の選択肢の中で最も近いものを1つだけ選択し、ご回答欄にご記入ください。

- 1. ほぼ100%把握できる
- 2. 80%程度把握できる
- 3. 50%程度なら、把握できる
- 4. 30%程度しか把握できない
- 5. ほとんど把握できない

- (1) 調査1 収支計算ファイル
部署別の収益及び費用 (要綱 調査1-12、1-13、1-14) について
- (2) 調査3
医師勤務に関する調査 (要綱 調査3-3、3-5)
- (3) 調査4
手術、検査、画像診断の診療行為実施場所に関する調査 (要綱 調査4-3)

ご回答欄

2. 貴院における「入院診療科」および「外来診療科」(以下診療科)と、
診療報酬請求時における「診療科コード」の対応について、
次のいずれかを選択してください。

ご回答欄

- 1. 「診療科」1つ(または複数)に、「診療科コード」が1つ対応している
- 2. 「診療科」1つに、「診療科コード」が複数対応している場合がある (センター方式)

3. 「診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究」(DPCコスト調査研究)への参加の有無
について、次のいずれかを選択してください。

ご回答欄

- 1. 参加している
- 2. 参加していない

貴医療機関名	
ご担当者様ご芳名	
メールアドレス	@

お手数おかけしますが、上記にご記入の上、当紙面を12月3日までに、下記のFAXまでご送付お願い申し上げます。

送付先FAX番号 : 03-3506-8528

入院部門			外来部門			中央診療部門			補助・管理部門		
貴院の入院 病棟名	貴院の入院 患者の診療科	レセプト診療 科 による分類	貴院の外来 患者の診療科	レセプト診療 科 による分類	貴院の 部門名	主治 検査 画像診断 リハビリテーシ ョン 人工透析 薬剤 栄養 地域連携 その他	貴院の 部門名	医事 用度 総務 施設管理 情報管理 図書室 その他 による分類	西3階	東4階	西4階
	内 科	01内科	内 科	01内科	第一手術室	手術	医 事 課	医 事			
	神 経 内 科	01内科	整 形 外 科	11整形外科	第二手術室	手術	用 度 課	用 度			
	外 科	10外科	産 婦 人 科	23産婦人科	中央検査室	検査	庶 務 課	総 務			
①貴院の病 棟名をご記入 ください。	②貴院における入院 の診療科名をご記入 ください。	③貴院の診療科に対応する診療報 酬請求時の「診療科コード」をプル ダウンメニューより選択してくだ さい。 ※なお、1つの診療科に対し、診療科コード が複数対応している場合は、「複数」を選択 してください。	④貴院における外来の 診療科名をご記入 ください。	⑤貴院の診療科に対応する診療 報酬請求時の「診療科コード」をプル ダウンメニューより選択してくだ さい。 ※なお、1つの診療科に対し、診療科コード が複数対応している場合は、「複数」を 選択してください。	⑥中央診療部門に関する貴院 の部門名をご記入ください。	⑦中央診療部門として記入 した貴院の部門に対応する 分類をプルダウンメニューよ り選択してください。	⑧補助・管理部門に関 する貴院の部門名を ご記入ください。	⑨補助・管理部門として記入した 貴院の部門に対応する分類をプル ダウンメニューより選択してくだ さい。 ※選択に当たっては、実際に用いた分類を お願いたします。			

補助・管理部門の考え方

分類名	分類の考え方	業務例	部門名(例)
医事	主に医療事務を担当して いる部署	診療受付、診療料会計、 診療報酬の請求等	外来係、入院係、看護部長室、 医療相談室、地域医療連携室...
用度	主に資材の調達・管理事 務を担当している部署	物品購入・管理、 役務の契約等	用度係...
総務	主に庶務・企画・人等関係 の事務を担当している部 署	事務文書管理、 病院事業の企画、 職員の人事・給与管理等	庶務係、事務部長室、秘書課、 経理課、人事企画室...
施設管理	主に病院施設の保守・管 理事務を担当している部 署	建物・機械等の保守・管理、 電気・ガス・水道の管理、 駐車場等の管理等	施設係...
情報管理	主に診療行為から発生す る診療情報の管理事務を 担当している部署	診療情報管理、 院内の情報システム制御等	電算室...
図書室	-	図書の管理	図書室

(資料5) 一般原価調査票

1. 収支計算ファイル

(1) 説明

部門設定、施設全体収支データ、直課項目（医業収益、給与費（医師を除く）、医薬品費）、基礎情報を得ることを目的としている。調査期間および調査概要は下図表のとおりである。

図表 収支計算ファイル 調査期間等

		内容
調査期間		平成18年10月(1カ月分)
記入者等		事務部門責任者
調査方法		磁気式ファイルへの直接入力
調査 ファイル	ファイル①	部門設定に関する情報、施設全体収支データ
	ファイル②	・直接計上情報(必須) ・医業収益(入院料収益、入院診療収益、室料差額収益、外来診療収益、保険査定減) ・医業費用(給与費・医薬品費)
	ファイル③	・直接計上情報(任意)上記(ファイル②)項目以外
	ファイル④	基礎情報

図表 収支計算ファイル種別とその内容

ファイル種別			内容		
①-1	部門設定	入院部門	病棟名、使用可能病床数、延べ入院患者数、入院患者の診療科		
①-2		外来部門			
①-3	部門設定 (レセ対応)	入院・外来	基本診療科、病院独自の診療科		
①-4	部門設定	中央診療部門	中央診療部門名、病院独自の部門名		
①-5		補助・管理部門			
①-6	施設全体収支データ		病院会計準則(改定版、平成16年8月)に沿った医業収益、医業費用、医業外収益および医業外費用のデータ		
②-1	直接計上情報 (必須)	医業収益	入院部門	直課項目(医業収益){入院料収益、入院診療収益、室料差額収益、外来診療収益、保険査定減}	
②-2			外来部門		
			中央診療部門		
②-3		医業費用	入院部門		直課項目(医業費用){常勤および非常勤について、看護職給、医療技術員給、事務員給、技能労務員給、医薬品費}
②-4			外来部門		
②-5	中央診療部門				
	補助・管理部門				
③-1	直接計上情報 (任意)	入院部門、外来部門		直課項目(任意)	
③-2		中央診療部門			
③-3		補助・管理部門			
④-1	基礎情報(入院部門)		医師数、看護師数、職員数、面積、給食食数		
④-2	基礎情報(外来部門)				
④-3	基礎情報(中央診療部門)				
④-4	基礎情報(補助・管理部門)				

(2) 調査票

1. 調査内容

- 貴院の部門構成、損益データ、配賦係数として用いる基礎数値（例：職員数、患者数、面積等）に関するデータを収集する調査です。
- 本調査1で得られたデータをもとに、入院、外来診療科別原価計算の枠組み等が設定されます。

2. 調査対象月

- 平成18年10月分

3. データ形式

- 磁気式ファイルへ直接入力をお願いします。

4. ご記入・データ作成にあたって

- 調査票記入にあたっては、次頁「収支入力ファイル」の記入例をご参照ください。

※ 部門設定段階で、歯科に関する診療科は全て除外しております。全体収支に関する項目などについてもできるだけ歯科分を除去していただきますようお願い申し上げます。

シート①-1 部門設定 (入院部門 (病棟))

このシートでは、貴院の病棟に関する情報についてご記入ください。

1. 貴院の各病棟名をご確認ください。
2. 各入院患者の診療科目をご確認ください。
3. 各病棟の病床数をご記入ください。
4. 各病棟の診療科別入院患者数をご記入ください。

※黄色のセルのみ入力ください (以下同様)。

貴院の 入院患者の診療科	病棟名	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	病棟5
	使用可能病床数	1-1病棟 10床	1-2病棟 20床	小児1病棟 15床	小児2病棟 25床	小児ICU 30床
平成18年10月の 延べ入院患者数合計 (自動計算)		延べ15人	延べ25人	延べ55人	延べ10人	延べ35人
内科		延べ15人				
呼吸器科			延べ25人			
消化器科(胃腸科)						
循環器科						
小児科						
精神科						
神経内科						
リウマチ科				延べ35人		
外科					延べ10人	
整形外科				延べ20人		
形成外科						延べ10人
脳神経外科						延べ25人
呼吸器外科						
心臓血管外科						
小児外科						
産婦人科						
産科						
眼科						
耳鼻いんこう科						
皮膚科						
泌尿器科						
放射線科						

1. 貴院の各病棟名をご確認ください。

3. 各病棟の病床数をご記入ください。

2. 各入院患者の診療科目をご確認ください。

4. 各病棟の診療科別入院患者数をご記入ください。

記入できないセルには、
空白のままお願いします
(以下、同じ)

シート①-2 部門設定 (外来部門 (外来診療室))

このシートでは、貴院の外来診療室に関する情報についてご記入ください。

1. 外来(外来診療室)の状況についてご確認ください。
2. 延べ外来患者数をご記入ください(延べ外来患者数は数字のみ入力ください)

外来患者の診療科	外来診療科名	合計(自動計算)	外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7
			内科	精神科	神経科	神経内科	呼吸器科	リウマチ科	小児科
	平成18年10月の延べ外来患者数	合計:延べ0人							

診療科ごとに、平成18年10月の延べ外来患者数を記入してください。
なお、診療科はあるが、平成18年10月の外来患者数が0人の場合は、「0人」と記入してください。

シート①-3 部門設定 (レセ対応) 1

1. 入院部門・外来部門における貴院の診療科と診療科コード(診療報酬請求時)の対応

診療科コード	貴院の入院部門	貴院の外来部門
01 内科	内科	内科
02 精神科	精神科	精神科
03 神経科		
04 神経内科	神経内科	神経内科
05 呼吸器科	呼吸器科	呼吸器科
06 消化器科	消化器科(胃腸科)	消化器科
07 胃腸科		
08 循環器科	循環器科	循環器科
09 小児科	小児科	小児科
10 外科	外科	外科
11 整形外科	整形外科	整形外科
12 形成外科	形成外科	形成外科
13 美容外科		
14 脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科
15 呼吸器外科	呼吸器外科	呼吸器外科
16 心臓血管外科	心臓血管外科	心臓血管外科
17 小児外科	小児外科	小児外科
18 皮膚泌尿器科		
19 皮膚科	皮膚科	皮膚科
20 泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科
21 性病科		
22 こう門科		
23 産婦人科	産婦人科	産婦人科
24 産科		
25 婦人科		
26 眼科	眼科	眼科
27 耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科
28 気管食道科		
29 (欠)		
30 放射線科	放射線科	放射線科
31 麻酔科		
32 (欠)		
33 心臓内科		
34 アレルギー科		
35 リウマチ科	リウマチ科	リウマチ科
36 リハビリテーション科		リハビリテーション科

「診療科コード」(診療報酬請求時)の診療科ごとに対応する、「貴院の入院診療科」および「貴院の外来診療科」をご確認ください。

※「貴院の入院診療科」および「貴院の外来診療科」が、複数の「診療科コード」と対応する場合は、調査 1-6 「2. センター方式等を採用している部門」にご記入ください。

2. センター方式等を採用している部門

このシートでは、貴院の診療科1つに対し、複数の診療科コード（診療報酬請求時）が対応している場合のみご記入ください。
（このような診療科をここでは「センター」と呼びます。）

<入院部門(病棟)>

センター名：

ここにセンター名が記入されている場合のみ、以下の欄にご記入ください

●センター名に対する勤務の実態をご記入ください

①診療科 (診療科コード)	常勤医師		非常勤医師	
	②実人数	③平均週間勤務日数 (常勤換算)	④実人数	⑤平均週間勤務日数 (常勤換算)
01内科	2	5.5	2	2.5
04神経内科	0	0	1	1
09小児科	1	5	1	3
07胃腸科	1	5	0	0

※「①診療科(診療科コード)」は、プルダウンメニューより選択してください。

<外来部門(外来診療室)>

センター名：

●センター名に対する勤務の実態をご記入ください

①診療科 (診療科コード)	常勤医師		非常勤医師	
	②実人数	③平均週間勤務コマ数 (常勤換算)	④実人数	⑤平均週間勤務コマ数 (常勤換算)

※「①診療科(診療科コード)」は、プルダウンメニューより選択してください。

＜項目の説明＞

項目名	記載内容	記載例及び留意点
センター名等	診療科コードとの対応付けが困難な部門名	循環器センター、脳神経センター、腎センター、脳卒中センター
①診療科 (診療科コード)	診療科コード	内科、心療内科、精神科、神経科(神経内科)、呼吸器科、消化器科(胃腸科)、循環器科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚泌尿器科(皮膚科又は泌尿器科)、性病科、こう門科、産婦人科(産科又は婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、気管食道科、リハビリテーション科及び放射線科 ¹
②実人数	携わる常勤医師数	当センターにて実際に診療に携わっている常勤医師数
③平均週間勤務日数 (常勤換算)	携わる常勤医師の平均週間勤務日数	例) 常勤医師が2名でそれぞれ勤務日数が5日と4日であれば、平均週間勤務日数は4.5日。 ※「1日」は貴院における入院の平均的な1日の勤務時間をもとに定義する(例 1日=12時間)。これをもとに、常勤医師ごとの日数を計算する。
④実人数	携わる非常勤医師数	当センターにて実際に診療に携わっている非常勤医師数
⑤平均週間勤務日数 (常勤換算)	非常勤医師(入院)の平均週間勤務日数	入院に携わる非常勤医師の平均週間勤務時間を、常勤医師の1日当り平均勤務時間及び非常勤医師数で割る。 例) 非常勤医師が2名で、それぞれ勤務日数が週12時間と16時間、常勤医師の1日当り平均勤務時間が8時間であれば、平均週間勤務日数は $(12+16) \div 8 \div 2 = 1.75$ 日
⑥平均週間勤務コマ数 (常勤換算)	常勤医師(外来)の平均週間勤務コマ数	外来に携わる常勤医師の平均週間勤務コマ数を記入。 原則として1コマ=3時間、午前1コマ、午後1コマとする。ただし、コマ数の数え方が左記と異なる場合は、貴院における1コマの時間を設定し、コマ数を計算する。
⑦平均週間勤務コマ数 (常勤換算)	非常勤医師(外来)の平均週間勤務コマ数	外来に携わる非常勤医師の平均週間勤務コマ数を記入。

¹ 出所) 医療法施行令(広告することができる診療科名)第5条の1

シート①-4 部門設定 (中央診療部門)

中央診療部門に該当する貴院の部門名をご確認ください。

※中央診療部門に該当する部署とは、入院、外来患者に共通した医療サービスを実施する部署となります

		貴院の部門名
手	術	中央手術部
検	査	検査部
画	像	画像診断部
診	断	中央処置室
リ	ハ	リハビリセンター
人	工	透析室
透	析	
薬	剤	薬剤部
栄	養	栄養科
地	域	地域医療連携室
連	携	
そ	の	輸血部
他		高圧酸素治療室
		外来指導室
		訪問看護ステーション
		その他の中央診療部門

シート①-5 部門設定 (補助・管理部門)

補助・管理部門に該当する貴院の部門名をご確認ください。

※補助・管理部門とは、貴院の運営管理を行う部署を指しています(医療サービスを行う部署は含まれません)。

		貴院の部門名
医	事	医療事務部
		臨床工学室
用	途	資材部
		材料室
総	務	病院事務部
		人事部
		企画部
		その他の補助・管理部門
施 設 管 理		施設管理室
情 報 管 理		医療情報管理室
図 書 室		図書室
そ の 他		

平成18年10月、平成18年の複数月合計(例:4月から10月)の収益、費用の数値をご記入ください。

(資料5) 一般原価調査票

シート①-6 施設全体収支データ

科目1	科目2	科目3	科目4	平成18年10月分	平成18年 月～平成18年 月合計
医業収益	入院料収益				
	入院診療収益				
	室料差額収益				
	外来診療収益				
	保健予防活動収益				
	受託検査・施設利用収益				
	その他の医業収益				
	合計			0	0
医業費用	材料費	医薬品費			<p>平成18年10月時点での、科目別に、施設全体収支データを記入してください。</p> <p>加えて、平成18年度の入手可能な期間のデータを入力し、表頭にデータ期間を記入してください(例:平成18年4月～10月)。</p> <p>※平成18年10月分:給与費については、年間賞与額の12分1を加えてご記入ください。</p> <p>※平成18年10月に特別な支出等が発生していた場合には、該当費用を12分の1にした上でご記入ください。</p>
		診療材料費			
	医療消耗器具備品費				
	給与費	給食用材料費			
		常勤医師給			
		非常勤医師給			
		常勤看護師給			
		非常勤看護師給			
		常勤医療技術員給			
		非常勤医療技術員給			
		常勤事務員給			
		非常勤事務員給			
		常勤技能労務員給			
		非常勤技能労務員給			
		賞与引当金繰入額			
		退職給与費用			
	法定福利費				
	委託費	検査委託費			
		給食委託費			
		寝具委託費			
		医事委託費			
		清掃委託費			
		保守委託費			
	設備関係費	減価償却費	医療用器械備品減価償却費		
			放射性同位元素減価償却費		
			その他の減価償却費		
		器械賃借料	医療用器械賃借料		
			その他の器械賃借料		
		地代家賃	医療用器械修繕費		
			その他の修繕費		
		固定資産税等	医療用機器保守料		
			その他の器械保守料		
			医療用機器設備保険料		
その他の器械設備保険料					
車両関係費	研究費				
	研究費				
経費	福利厚生費				
	旅費交通費				
	職員被服費				
	通信費				
	広告宣伝費				
	消耗品費				
	消耗器具備品費				
	会議費				
	水道光熱費				
	保険料				
	交際費				
	諸会費				
	租税公課				
	医業貸倒損失				
	貸倒引当金繰入額				
	雑費				
	控除対象外消費税等負担額				
本部費配賦額					
合計			0	0	
医業外収益	受取利息及び配当金				
	有価証券売却益				
	運営費補助金収益				
	施設設備補助金収益				
	患者外給食収益				
その他の医業外収益					
合計			0	0	
医業外費用	支払利息				
	有価証券売却損				
	患者外給食用材料費				
	診療費免減額				
	医業外貸倒損失				
	貸倒引当金医業外繰入額				
その他の医業外費用					
合計			0	0	

※平成18年10月分:給与費については、年間賞与額の12分1を加えてご記入ください。

※平成18年10月に特別な支出等が発生していた場合には、該当費用を12分の1にした上でご記入ください。

資料 5-11

シート②-1 医業収益(入院(病棟)・外来(外来診療室))

このシートでは、病棟別の医業収益(入院部門)、診療科別の医業収益(外来部門)に関する情報についてご記入ください。

※病棟名はシート①-1を参照しています。

●入院部門(病棟)		病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	病棟5	病棟6	病棟7	病棟8
科目	小計	感染症病棟	周産期センター	集中治療室	救命救急センター	東3階	西3階	東4階	西4階
入院料収益	0円								
入院診療収益	0円								
室料差額収益	0円								
外来診療収益	0円								
保健予防活動収益	0円								
受託検査・施設利用収益	0円								
その他の医業収益	0円								
合計	0円								
保険等査定減	0円								

※診療科名はシート①-2を参照しています。

●外来部門(外来診療室)		外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7	外来8
科目	小計	消化器内科	消化器化学療法科	呼吸器内科	循環器内科	腎臓内科	内分泌糖尿病科	神経内科	小児科
入院料収益	0円								
入院診療収益	0円								
室料差額収益	0円								
外来診療収益	0円								
保健予防活動収益	0円								
受託検査・施設利用収益	0円								
その他の医業収益	0円								
合計	0円								
保険等査定減	0円								

シート②-2 医業収益 (中央診療部門)

1. 中央診療部門における部署別の医業収益に関する情報についてご記入ください。

※「入院診療収益」、「外来診療収益」には、それぞれの部署に該当する入院患者、外来患者の特掲診療料として発生した収益額のみを計上してください。

●中央診療部門 ※部署名はシート①-4を参照しています。

科目	小計	手術室	臨床検査科	放射線	リハビリテーション	透析室	薬局	栄養管理科	急患室
入院料収益	0円								
入院診療収益	0円								
室料差額収益	0円								
外来診療収益	0円								
保健予防活動収益	0円								
受託検査・施設利用収益	0円								
その他の医業収益	0円								
合計	0円								
保険等査定減	0円								

2. 以下の確認表で、各シート間(①-6、②-1、②-2)の整合性をご確認ください。

※シート②-1、②-2の合計値が、シート①-6の値と等しくなります。

●合計(科目)と内訳(入院部門、外来部門、中央診療部門)の確認表

科目	①入院部門 (シート②-1 上段の値)	②外来部門 (シート②-1 下段の値)	③中央診療部門 (シート②-2 上段の値)	合計 ①+②+③	平成18年10月分 (シート①-6の値)
入院料収益	0円			0円	0円
入院診療収益	0円		0円	0円	0円
室料差額収益	0円			0円	0円
外来診療収益		0円	0円	0円	0円
保健予防活動収益				0円	0円
受託検査・施設利用収益				0円	0円
その他の医業収益				0円	0円
合計				0円	0円
保険等査定減	0円	0円	0円	0円	0円

この表は、入力する必要はありません。
各部門の合計値が全体合計と一致しているかどうかをご確認ください。
整合が取れない場合、セルが赤く表示されます。

シート②-3 給与費・材料費(入院(病棟)・外来(外来診療室))

このシートでは、病棟別の給食費・材料費(入院部門)、診療科別の給食費・材料費(外来部門)に関する情報についてご記入ください。

※病棟名はシート①-1を参照しています。

●入院部門(病棟)		(参考)	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	病棟5	病棟6
科目2	科目3	小計	東3病棟	東4病棟	ICU	救急病棟	西2病棟	西3病棟
給与費	常勤医師給							
	非常勤医師給							
	常勤看護師給	0円						
	非常勤看護師給	0円						
	常勤医療技術員給	0円						
	非常勤医療技術員給	0円						
	常勤事務員給	0円						
	非常勤事務員給	0円						
	常勤技能労務員給	0円						
	非常勤技能労務員給	0円						
	賞与引当金繰入額							
	退職給与費用							
	法定福利費							
材料費	医薬品費	0円						
	診療材料費							
	医療消耗器具備品費							
	給食用材料費							

※診療科名はシート①-2を参照しています。

●外来部門(外来診療室)		(参考)	外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6
科目2	科目3	小計	H総合内科	H循環器内科	H消化器内科	H腎臓内科	H神経内科	H外科
給与費	常勤医師給							
	非常勤医師給							
	常勤看護師給	0円						
	非常勤看護師給	0円						
	常勤医療技術員給	0円						
	非常勤医療技術員給	0円						
	常勤事務員給	0円						
	非常勤事務員給	0円						
	常勤技能労務員給	0円						
	非常勤技能労務員給	0円						
	賞与引当金繰入額							
	退職給与費用							
	法定福利費							
材料費	医薬品費	0円						
	診療材料費							
	医療消耗器具備品費							
	給食用材料費							

シート②-4 給与費・材料費（中央診療部門）

このシートでは、貴院の給食費・材料費（中央診療部門）に関する情報についてご記入ください。

●中央診療部門

(参考)

※部署名はシート①-4を参照しています。

科目2	科目3	小計	中央手術室	委託検査	生理検査室	臨床検査室	カテ室	画像技術室	リハビリテーション室
給与費	常勤医師給								
	非常勤医師給								
	常勤看護師給	0円							
	非常勤看護師給	0円							
	常勤医療技術員給	0円							
	非常勤医療技術員給	0円							
	常勤事務員給	0円							
	非常勤事務員給	0円							
	常勤技能労務員給	0円							
	非常勤技能労務員給	0円							
	賞与引当金繰入額								
	退職給与費用								
	法定福利費								
材料費	医薬品費	0円							
	診療材料費								
	医療消耗器具備品費								
	給食用材料費								

シート②-5 給与費・材料費(補助・管理部門)

1. 補助・管理部門における部署別の給食費・材料費(補助・管理部門)に関する情報についてご記入ください。

●補助・管理部門 (参考) ※部署名はシート①-5を参照しています。

科目2	科目3	小計	局長・管理部長	総務部	本部	システム医療情報室	在宅支援室	臨床工学課
給与費	常勤医師給							
	非常勤医師給							
	常勤看護師給	0円						
	非常勤看護師給	0円						
	常勤医療技術員給	0円						
	非常勤医療技術員給	0円						
	常勤事務員給	0円						
	非常勤事務員給	0円						
	常勤技能労務員給	0円						
	非常勤技能労務員給	0円						
	賞与引当金繰入額							
	退職給与費用							
法定福利費								
材料費	医薬品費							
	診療材料費							
	医療消耗器具備品費							
	給食用材料費							

2. 以下の確認表で、各シート間(①-6、②-3、②-4、②-5)の整合性をご確認ください。

※シート②-3、②-4、②-5の合計値が、シート①-6の値と等しくなります。

●合計(科目)と内訳(入院部門、外来部門、中央診療部門)の確認表

科目	①入院部門 (シート②-3 上段の値)	②外来部門 (シート②-3 下段の値)	③中央診療部門 (シート②-4 上段の値)	④補助・管理部門 (シート②-5 上段の値)	合計 ①+②+③+④	平成18年10月分 (シート①-6の値)	
給与費	常勤医師給				0円	0円	
	非常勤医師給				0円	0円	
	常勤看護師給	0円	0円	0円	0円	0円	
	非常勤看護師給	0円	0円	0円	0円	0円	
	常勤医療技術員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	非常勤医療技術員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	常勤事務員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	非常勤事務員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	常勤技能労務員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	非常勤技能労務員給	0円	0円	0円	0円	0円	
	賞与引当金繰入額					0円	0円
	退職給与費用					0円	0円
法定福利費					0円	0円	
材料費	医薬品費	0円	0円	0円	0円	0円	
	診療材料費				0円	0円	
	医療消耗器具備品費				0円	0円	
	給食用材料費				0円	0円	

この表は、入力の必要はありません。
各部門の合計値が全体合計と一致しているかどうかをご確認ください。
整合が取れない場合、セルが赤く表示されます。

このシートの記入は任意です。
可能な限り、病棟別の直接計上情報(入院部門)、診療科別の直接計上情報(外来部門)についてご記入ください。

※病棟名はシート①-1を参照しています。

●入院部門(病棟)				(参考)	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4
科目1	科目2	科目3	科目4	小計	東3病棟	東4病棟	ICU	救急病棟
医療収益	保健予防活動収益			0円				
	受託検査・施設利用収益			0円				
	その他の医療収益			0円				
医療費用	材料費	診療材料費		0円				
		検査材料費		0円				
		給食材料費		0円				
		医療消耗器具備品費		0円				
	給与費	賞与引当金繰入額		0円				
		退職給与費用		0円				
		法定福利費		0円				
	委託費	検査委託費		0円				
		給食委託費		0円				
		寝具委託費		0円				
		医薬委託費		0円				
		清掃委託費		0円				
		保守委託費		0円				
		その他の委託費		0円				
	設備関係費	減価償却費	医療用器械備品減価償却費	0円				
			放射線同位元素減価償却費	0円				
			その他の減価償却費	0円				
		器械賃借料	医療用器械賃借料	0円				
			その他の器械賃借料	0円				
		地代家賃		0円				
		修繕費	医療用器械修繕費	0円				
			その他の修繕費	0円				
		固定資産税等		0円				
		器械保守料	医療用器械保守料	0円				
			その他の器械保守料	0円				
		器械設備保険料	医療用器械設備保険料	0円				
			その他の器械設備保険料	0円				
		車両関係費		0円				
研究研修費	研究費			0円				
	研修費			0円				
経費	福利厚生費			0円				
	旅費交通費			0円				
	職員被服費			0円				
	通信費			0円				
	広告宣伝費			0円				
	消耗品費			0円				
	消耗器具備品費			0円				
	金庫費			0円				
	水道光熱費			0円				
	保険料			0円				
	雑費			0円				
	租税公課			0円				
	医療貸倒損失			0円				
	貸倒引当金繰入額			0円				
	雑費			0円				
	控除対象外消費税等負担額			0円				
	本部費配賦額			0円				
医療外収益	受取利息及び配当金			0円				
	有価証券売却益			0円				
	運営費補助金収益			0円				
	施設設備補助金収益			0円				
	患者外給食収益			0円				
	その他の医療外収益			0円				
医療外費用	支払利息			0円				
	有価証券売却損			0円				
	患者外給食材料費			0円				
	診療費免除額			0円				
	医療外貸倒損失			0円				
	貸倒引当金医療外繰入額			0円				
	その他の医療外費用			0円				

※診療科名はシート①-2を参照しています。

●外来部門(外来診療室)				(参考)	外来1	外来2	外来3	外来4
科目1	科目2	科目3	科目4	小計	H総合内科	H循環器内科	H消化器内科	H腎臓内科
医療収益	保健予防活動収益			0円				
	受託検査・施設利用収益			0円				
	その他の医療収益			0円				
医療費用	材料費	診療材料費		0円				
		検査材料費		0円				
		給食材料費		0円				
		医療消耗器具備品費		0円				
	給与費	賞与引当金繰入額		0円				
		退職給与費用		0円				
		法定福利費		0円				
	委託費	検査委託費		0円				
		給食委託費		0円				
		寝具委託費		0円				
		医薬委託費		0円				
		清掃委託費		0円				
		保守委託費		0円				
		その他の委託費		0円				
	設備関係費	減価償却費	医療用器械備品減価償却費	0円				
			放射線同位元素減価償却費	0円				
			その他の減価償却費	0円				
		器械賃借料	医療用器械賃借料	0円				
			その他の器械賃借料	0円				
		地代家賃		0円				
		修繕費	医療用器械修繕費	0円				
			その他の修繕費	0円				
		固定資産税等		0円				
		器械保守料	医療用器械保守料	0円				
			その他の器械保守料	0円				
		器械設備保険料	医療用器械設備保険料	0円				
			その他の器械設備保険料	0円				
		車両関係費		0円				
研究研修費	研究費			0円				
	研修費			0円				
経費	福利厚生費			0円				
	旅費交通費			0円				
	職員被服費			0円				
	通信費			0円				
	広告宣伝費			0円				
	消耗品費			0円				
	消耗器具備品費			0円				
	金庫費			0円				
	水道光熱費			0円				
	保険料			0円				
	雑費			0円				
	租税公課			0円				
	医療貸倒損失			0円				
	貸倒引当金繰入額			0円				
	雑費			0円				
	控除対象外消費税等負担額			0円				
	本部費配賦額			0円				
医療外収益	受取利息及び配当金			0円				
	有価証券売却益			0円				
	運営費補助金収益			0円				
	施設設備補助金収益			0円				
	患者外給食収益			0円				
	その他の医療外収益			0円				
医療外費用	支払利息			0円				
	有価証券売却損			0円				
	患者外給食材料費			0円				
	診療費免除額			0円				
	医療外貸倒損失			0円				
	貸倒引当金医療外繰入額			0円				
	その他の医療外費用			0円				

シート③-2 直接計上情報(任意) 中央診療部門

可能な限り、貴院の直接計上情報(中央診療部門)についてご記入ください。

●中央診療部門					(参考) ※部署名はシート①-4を参照しています。					
科目1	科目2	科目3	科目4	小計	カテ室	リハビリテーション部	委託検査	栄養管理室	画像技術室
医業収益	保健予防活動収益			0円						
	受託検査・施設利用収益			0円						
	その他の医業収益			0円						
医業費用	材料費	診療材料費 検査材料費 給食材料費 医療消耗器具備品費		0円						
	給与費	賃借引当金繰入額 退職給付費用 法定福利費		0円						
	委託費	検査委託費 給食委託費 保安委託費 医事委託費 清掃委託費 保守委託費 その他の委託費		0円						
	設備関係費	減価償却費 器械賃借料 地代家賃 修繕費 固定資産税等 器械保守料 器械設備保険料 車両関係費	医療用器械備品減価償却費 放射性同位元素減価償却費 その他の減価償却費 医療用器械賃借料 その他の器械賃借料 医療用器械修繕費 その他の修繕費 医療用器械保守料 その他の器械保守料 医療用器械設備保険料 その他の器械設備保険料	0円						
	研究研修費			0円						
	経費	福利厚生費 旅費交通費 職員被服費 通信費 広告宣伝費 消耗品費 消耗器具備品費 会議費 水道光熱費 保険料 交際費 謝会費 租税公課 医業負債損失 賃借引当金繰入額 雑費		0円						
		控除対象外消費税負担額 本部貸付戻額		0円						
医業外収益	受取利息及び貯当金 有価証券売却益 運送補助金収益 施設設備補助金収益 患者外給付収益 その他の医業外収益			0円						
医業外費用	支払利息 有価証券売却損 患者外給付材料費 診療費外滞額 医業外貸付損失 賃借引当金医業外繰入額 その他の医業外費用			0円						

シート③-3 直接計上情報(任意) 補助・管理部門

このシートの記入は任意です。

1.可能な限り、貴院の直接計上情報(補助・管理部門)についてご記入ください。

●補助・管理部門

(参考)

科目1	科目2	科目3	科目4	小計	システム医療情報室	局長・管理部長	在宅支援室	総務部	本部	……
医業収益	保健予防活動収益			0円						
	受託検査・施設利用収益			0円						
	その他の医業収益			0円						
医業費用	材料費	診療材料費		0円						
		給食用材料費		0円						
		医療消耗器具備品費		0円						
	給与費	賞与引当金繰入額		0円						
		退職給付費用		0円						
		法定福利費		0円						
	委託費	検査委託費		0円						
		検査委託費		0円						
		検査委託費		0円						
		検査委託費		0円						
		清掃委託費		0円						
		守衛委託費		0円						
		その他の委託費		0円						
	設備関係費	減価償却費	医療用機械備品減価償却費	0円						
			放射線同位体発生減価償却費	0円						
			その他の減価償却費	0円						
		器械賃借料	医療用機械賃借料	0円						
			その他の器械賃借料	0円						
		地代家賃		0円						
		修繕費	医療用機械修繕費	0円						
			その他の修繕費	0円						
		固定資産税等		0円						
		器械保守料	医療用機械保守料	0円						
			その他の器械保守料	0円						
		器械設備保険料	医療用機械設備保険料	0円						
			その他の器械設備保険料	0円						
	研究研修費	車両関係費		0円						
		研究費		0円						
		研修費		0円						
	経費	福利厚生費		0円						
		旅費交通費		0円						
		職員被服費		0円						
		通信費		0円						
		広告宣伝費		0円						
		消耗品費		0円						
		消耗器具備品費		0円						
		雑費		0円						
		水道光熱費		0円						
		保険料		0円						
		請求費		0円						
		租税公課		0円						
		医薬費引当金繰入額		0円						
		賞与引当金繰入額		0円						
		利息		0円						
		控除対象外消費税等負担額		0円						
		本部費取戻額		0円						
医業外収益	受取利息及び配当金			0円						
	有価証券売却益			0円						
	運営費補助金収益			0円						
	施設設備補助金収益			0円						
	患者外収益			0円						
	その他の医業外収益			0円						
医業外費用	支払利息			0円						
	有価証券売却損			0円						
	患者外経費用材料費			0円						
	診療費取戻額			0円						
	医業外費取戻額			0円						
	賞与引当金医業外繰入額			0円						
	その他の医業外費用			0円						

シート④-1,2,3,4 基礎情報

●入院部門(病棟)

	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	病棟5	病棟6	病棟7
	1-1病棟	1-2病棟	小児1病棟	小児2病棟	小児ICU
看護師数							
職員数							
面積							
給食数							

※「看護師数」、「職員数」は、常勤換算値を記入ください。

※「職員数」とは、医師数を除く該当部門に勤務する全ての職種の合計を指しています。

●外来部門(外来診療室)

	外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7
	内科	精神科	呼吸器科	消化器科	循環器科	リウマチ科	小児科
看護師数							
職員数							
面積							
給食数							

※「看護師数」、「職員数」は、常勤換算値を記入ください。

※「職員数」とは、医師数を除く該当部門に勤務する全ての職種の合計を指しています。

●中央診療部門

	中央手術部	...	画像診断部	臨床心理室	中央処置室	リハビリセンター	...
看護師数							
職員数							
面積							
給食数							

※「看護師数」、「職員数」は、常勤換算値を記入ください。

※「職員数」とは、医師数を除く該当部門に勤務する全ての職種の合計を指しています。

●補助・管理部門

	医療事務部	臨床工学室	...	資材部	経理部	材料室	...
看護師数							
職員数							
面積							
給食数							

※「看護師数」、「職員数」は、常勤換算値を記入ください。

※「職員数」とは、医師数を除く該当部門に勤務する全ての職種の合計を指しています。

2. レセプト・データもしくはEファイル

(1) 説明

医業収益及び部門別原価の配賦に必要な係数を作成することを目的として、調査対象施設が容易に提供可能な形態（レセプト・データもしくはEファイル）にて収集を行うものとする。調査期間および調査概要は下図表のとおりである。

図表 0-1 レセプト・データ等 調査期間等

		内容
調査期間		平成 18 年 10 月 (1カ月分)
記入者等		事務部門責任者、院内情報システム管理者
調査方法		・レセプト電算処理システム記録条件仕様の「共通部分」および「摘要情報部分」の磁気ファイルの収集 ・DPC準備及び対象病院における E ファイルの収集
調査対象		入院、外来患者全数(医科)※
内 容	レセプト・ データ	共通部分 施設情報やレセプト共通情報からなり、診療年月やレセプト種別、診療科コードなどのデータを用いる。
		摘要部分 診療行為情報、医薬品情報、および特定器材情報からなり、それぞれの点数や回数を用いる。
	Eファイル	医科点数表の基づいた主たる診療行為ごとの出来高情報

※点数表区分 3 歯科、4 調剤、5 訪問看護、6 柔道整復は対象外。

また、保険種別の介護保険、労災、自賠責、自費(自由診療)も対象外とする。

レセプト・データもしくはEファイルの収集時には、個人情報保護の観点から調査対象施設において医科の項目の匿名化を依頼する。

図表 0-2 匿名化項目一覧

データ種類	匿名化項目
レセプト・データ	「医療機関コード」「医療機関名称」「レセプト番号」「男女区分」「生年月日」「カルテ番号」
Eファイル	「氏名」「カルテ番号」「保険者番号」「被保険者証等の記号・番号」「老人医療受給者番号」「公費負担医療受給者番号」

(2) 調査票

1. 調査内容

■以下のいずれかのデータをご提供いただきます。

➤ レセプト電算処理システム記録条件仕様に基づいたレセプト・データ (注)

☆ 「共通部分」および「摘要情報部分」

➤ Eファイル (入院、および外来)

☆ (ただし、外来のEファイルのご提供が困難な場合は、外来のみレセプト・データでご提供戴くことも可能です。)

■データ収集の目的

本調査2で得られたデータをもとに、入院、外来の診療科別収益、費用の計上、配賦時の係数等を事務局で作成し、収支計算時に活用することを目的とします。

2. 調査対象月

■平成18年10月診療分 (医科点数のみ)。

3. データ形式

■MOディスクを用意いたしますので、磁気ファイル形式で記録し、ご提供ください。

4. ご記入・データ作成にあたって

■提供頂くデータが貴院独自のフォーマット (例: 欠損項目がある、データの並びが異なる等) である場合には、必ず事務局までお知らせください。

<対象レコードと必要なデータ>

○共通部分

対象レコード	医療機関情報 (IR)、レセプト共通 (RE)	必要なデータ	診療年月、レセプト種別、診療科コードのデータ
--------	-------------------------	--------	------------------------

○摘要情報部分

対象レコード	診療行為 (S I)、医薬品 (I Y)、特定器材 (T O)	必要なデータ	それぞれについて、コード、点数、回数、T Oについて単位コードのデータ。
--------	---------------------------------	--------	--------------------------------------

■「診療科コード」が医療機関情報レコードの項目番号⑥ (旧総合病院の場合)、あるいはレセプト共通レコードの項目番号⑩ (旧総合病院以外の場合) のいずれかに記入されていること (次頁をご参照ください)。

■レセプト・データの匿名化について

個人情報保護の観点から、ご提出前に貴院において入力支援ソフトを用いた、以下の項目の匿名化を実施します。

図表 データ項目一覧

ファイル	レコード	項目番号	項目名
レセプト・データ	医療機関情報 (I R) レコード	⑤	医療機関コード
		⑦	医療機関名称
		⑩	電話番号
	レセプト共通 (R E) レコード	②	レセプト番号
		⑤	氏名
		⑥	男女区分
		⑦	生年月日
		⑭	カルテ番号等
	適用情報 (S I、I Y、T O) レコード	匿名化項目なし	
E ファイル	診療明細情報 (E ファイル)	1	施設コード
		16	保険者番号

図表 レセプト電算処理システム記録条件仕様 における匿名化項目

項目番号	① 項目	② 識別情報	③ 寄附機関	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑥ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
医療機関情報	項目	① レセプト	② 寄附機関	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
レセプト共通	項目	① レセプト	② レセプト	③ レセプト	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
診療行為レコード	項目	① レセプト	② 診療年度	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
医薬品レコード	項目	① レセプト	② 診療年度	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
特定器材レコード	項目	① レセプト	② 診療年度	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑦ 請求年月	⑧ マルチボリウム	⑨ 診療科目	⑩ 診療科目	⑪ 診療科目	⑫ 診療科目	⑬ 診療科目	⑭ 診療科目	⑮ 診療科目	⑯ 診療科目	⑰ 診療科目	⑱ 診療科目	⑲ 診療科目	⑳ 診療科目
記録例	項目番号	①	②	③	④	⑤	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
		IR	1	18	1	1844587	41845	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
		RE	1111	41804	1	1844587	41845	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
		SI	11	1	111003610	359	1													
		IM	70	1	617210034	300														
		TO	50	1	777770000	1	13	1	010	133	1									

図表 Eファイルにおける匿名化項目

項目番号	① 項目	② 診療年度	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑥ 診療年度	⑦ 診療年度	⑧ 診療年度	⑨ 診療年度	⑩ 診療年度	⑪ 診療年度	⑫ 診療年度	⑬ 診療年度	⑭ 診療年度	⑮ 診療年度	⑯ 診療年度	⑰ 診療年度	⑱ 診療年度	⑲ 診療年度	⑳ 診療年度
診療明細情報	項目	① 診療年度	② 診療年度	③ 診療年度	④ 診療年度	⑤ 診療年度	⑥ 診療年度	⑦ 診療年度	⑧ 診療年度	⑨ 診療年度	⑩ 診療年度	⑪ 診療年度	⑫ 診療年度	⑬ 診療年度	⑭ 診療年度	⑮ 診療年度	⑯ 診療年度	⑰ 診療年度	⑱ 診療年度	⑲ 診療年度
項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
	17	18	18	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
	1317	20051018	10	110	***	***	0	0	1											

3. 医師勤務に関する調査**(1) 説明**

医師勤務に関する調査は、調査対象施設にとって比較的調査負荷の大きい調査であるが、平成17年度調査研究において、DPCコスト調査研究で用いられている方法（DPCコスト調査調査票A及び病棟別情報）の有用性が確認されているため、これを活用²する。

図表 医師勤務に関する調査 調査期間等

	内容
調査期間	平成18年10月の1ヶ月間
記入者等	医師所属部署責任者
調査方法	・診療科別に、研修医、経験年数10年未満、経験年数10年以上、医長および診療科長・診療部長・部長の人数を記入。
調査対象	・当該施設に勤務する全ての医師(常勤・非常勤を問わず)

²本調査票は、『平成15年度厚生科学研究費補助金(政策科学推進研究事業)「急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査研究」分担研究「診断群分類における原価の測定に関する研究」の概要及び平成16年度厚生科学研究費補助金(政策科学推進研究事業)「診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究」分担研究「コスト調査のための方法論に関する研究」』調査票A (Copyright 2003 松田班) を参考に作成されている。

(2) 調査票

1. 調査内容

- 貴院の診療科別医師勤務時間の部門別割合を把握することを目的としております（歯科医師は除く）。
- 本調査3で得られたデータをもとに、入院、外来診療科別の医師給与費の一次計上を行います。

2. 調査対象月

- 平成18年10月分

3. データ形式

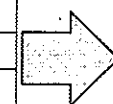
- 磁気ファイル（FD内）に入力の上ご提出ください。

4. 調査票

■ 調査票 診療科別医師・歯科医師勤務比率 (人数)

診療科名	科
------	---

	所属 人数	一ヶ月 合計	病院以外の業務	診療に係る行為						
			学会活動、教授会、 他院診療、研究日、 出張・会議等	外来	貴院の入院部門			貴院の中央診療部門		
					3階 病棟	4階 病棟	5階 病棟	手術・中央 材料室	検査 部	放射線 部
研修医										
経験年数10年未満										
経験年数10年以上										
医長										
診療科長、診療部長、院長										
合計(人数)										



診療に係る行為																								
貴院の中央診療部門					貴院の補助・管理部門																			
理学療法部	腎センター	薬剤部	栄養課	病診連携室	医事課	庶務係	用度係	施設課	施設係	施設課	庶務課	経理課	病歴室	当直	医の教育	臨床研修	疾病カンファレンス	果記診療	ター等因	検診セン	療	その他(保険診)		

(ア) 調査票は医師給を部署別に配賦するために使用します。(基本的に医師が勤務する部署が全て対象となる。)

(イ) まず、調査票の表頭部で貴病院の実際の部署をご確認ください。

(ウ) 貴院の診療科1つにつき1シートが設定されていることをご確認ください。

(エ) 診療科別に一ヶ月の勤務実績別人員をご入力ください。

◆ 勤務実績別人員(人月)とは、2006年10月は一般的な営業日が21日であることから、8時間×21日=168時間/月を1人として計算します。複数の医師が交代で一ヶ月の31日間24時間勤務した場合、合計勤務時間=744時間となり、744時間÷168時間=4.43人のカウントになります。3人で交代勤務したのか4人で勤務したかは「所属人数」で把握されます。

◆ 1人の医師が複数診療科を兼務している場合は、勤務実績別人員をそれぞれの診療科に振り分けて入力します。

◆ 診療科への所属が不明確な医師については、診療科名を「その他」などとしてワークシートを1枚追加し、そこにご入力ください。

(オ) 入力に際しては、医師を以下の区分けで分類します。

研修医/経験年数10年未満/経験年数10年以上/医長/診療科長・診療部長・院長

◆ 経験年数については、臨床経験年数とし、非常勤であっても診療に従事している期間は臨床経験年数に算入します。実際に支給されている給与とは無関係に、臨床経験年数で分類します。

(カ) 「病院以外の業務」とは、自院外での医療活動(研究日、学外業務(アルバイト)、診療応援等)、会議・出張、学会活動、研究活動とします。また、研修・教育については、病院内の患者に対する診療行為を伴う場合「臨床研修医の教育」、それ以外は「病院以外の業務」とします。

■ 補足調査票（医師平均給与調査票）

医師の経験年数等による分類別に、平均給与（月額）および平均勤務時間をご記入ください。ただし、本調査票は事務部門責任者をご記入ください。

※ 平均時給・平均月給を計算する際の給与費は、賞与および法定福利費を含む

補足調査票 医師平均給与調査票

		①平均給与	②平均勤務時間
医師	研修医		
	経験年数10年未満		
	経験年数10年以上		
	医長		
	診療科長、診療部長、院長		
麻酔医			

注) 「①平均給与」には、賞与および法定福利費を含めて記入してください。

4. 手術、検査、画像診断の実施場所に関する調査

(1) 説明

医科診療報酬点数表 特掲診療「K：手術」及び「D：検査」、「E：画像診断」の各診療行為（サービス単位）の実施場所を把握することを目的としている。調査期間等は下図表のとおりである。

図表 手術・検査・画像診断の実施場所に関する調査 調査期間等

		内容
調査期間		平成18年10月(1カ月分)
記入者等		事務部門責任者など
調査方法	手術	実施場所
	院内で実施している検査	実施場所
		標準的な関与スタッフ数
		職種別・標準的な1回当たりの検査時間
	画像診断	実施場所
		標準的な関与スタッフ数
職種別・標準的な1回当たりの検査時間		

(2) 調査票

1. 調査内容

- 医科診療報酬点数 特掲診療料「K：手術」、「D：検査」、「E：画像診断」の各診療行為の実施場所を把握することを目的としています。
- 事務局では、標準的等価係数を用いた入院、外来診療科別収支計算の一次形状時に該当診療行為が実際に行われている部門に収益、費用を計上する際の係数として使用します。
- 本調査票は、貴院から提供頂いた「調査2 レセプト・データもしくはEファイル」のデータを事務局で集計し、その結果をもとに診療実績に基づき調査票を作成しお送り致します。

2. 調査対象月

- 平成18年10月の状況

3. データ形式

- 調査票を磁気ファイル形式でお渡ししますので、磁気ファイル上に記入、もしくは紙媒体でご提出ください。

4. ご記入・データ作成にあたって

なし

【診療行為実施場所に関する調査：シート記入例】
黄色のセルにのみご入力下さい

①手術の実施場所に関するデータ

コード	診療行為名	診療科				入院外来別			実施場所					
		A科	B科	C科	...	入院 外	入院	合計	第1 手術室	中央 検査室	〇〇科	××科	西△階	合計
		K**1	〇〇処理	100	50	0		80	70	150	100%	0%	0%	0%
K**2	××切開術	80	30	30		30	110	140	50%	0%	50%	0%	0%	100%
K**3	△△顕微鏡検査	50	0	0		5	45	50	0%	0%	0%	100%	0%	100%
...						

内訳が不明の場合、主に実施する場所に100%とご記入下さい

場所名は入力ファイル①でご記入いただいた貴病院の部門名・病棟名を入力してお送りします

合計欄はその行（診療行為）に記入した値（%）の合計値を自動的に計算して表示します
入力後に合計が100%と表示されているかご確認下さい

ご提出いただいたレセプト・データを当方で集計して、貴病院で実施された診療行為のみ抜粋し、実施件数を記入してお送りします

②院内で実施している検査に関するデータ（実施場所含む）

コード	診療行為名	診療科				入院外来別			実施場所					
		A科	B科	C科	...	入院 外	入院	合計	中央 検査室	〇〇科	××科	東■階	西△階	合計
		D**1	〇〇検査	30	50	0		40	40	80	100%	0%	0%	0%
D**2	××力学的検査	40	0	0		30	10	40	100%	0%	0%	0%	0%	100%
D**3	△△ガス分布	0	20	10		5	25	30	0%	100%	0%	0%	0%	100%
...						

内訳が不明の場合、主に実施する場所に100%とご記入下さい

ご提出いただいたレセプト・データを当方で集計して、貴病院で実施された診療行為のみ抜粋し、実施件数を記入してお送りします

③画像診断に関するデータ（実施場所含む）

コード	診療行為名	診療科				入院外来別			実施場所					
		A科	B科	C科	...	入院 外	入院	合計	放射線科	〇〇科	××科	東■階	西△階	合計
		E**1	〇〇診断	30	0	0		20	10	30	30%	0%	20%	0%
E**2	××診断	10	5	10		20	5	25	100%	0%	0%	0%	0%	100%
E**3	△△撮影	0	0	20		10	10	20	100%	0%	0%	0%	0%	100%
...						

内訳が不明の場合、主に実施する場所に100%とご記入下さい

ご提出いただいたレセプト・データを当方で集計して、貴病院で実施された診療行為のみ抜粋し、実施件数を記入してお送りします

(資料6) 事後調査票

医療機関の部門別収支に関する調査研究 事務局 行

医療機関の部門別収支に関する調査研究 事後調査票

* 以下の質問票に回答ください。* パソコンで作成いただく場合は、黄色部分()に記入ください。

1. データ提出の作業過程について

データ入力・提出の過程における貴院の作業状況を以下の設問に沿ってご記入ください。

(1) 調査1: 収支計算ファイル

問① 作業状況および提出状況

(どれか1つに○をつけてください。)

1	作業は特に問題はなく、期日までに提出できた →(2)調査2に進んでください
2	期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった
3	期日どおりに提出できなかった

問② 「問①」で2 3を選ばれた場合、貴院において作業が難しかった点、問題があると感じた点を、以下の項目から選んでください。

(該当するもの全てに○をつけてください。複数回答可。)

1	入院部門における患者数の数え方が難しかった
2	標榜診療科と診療報酬請求時の診療科コードの対応が難しかった
3	部門を中央診療と補助管理に振り分けるのが難しかった
4	センター方式を採用している部門の診療科別の医師勤務日数の算出方法が難しかった
5	当院の会計科目を調査票の科目にあわせるのが難しかった
6	全体収支データを1か月分として計上するのが難しかった
7	保険等査定減の各部門(診療科)への細分化が難しかった
8	包括払い分の収益の記載方法が分かりづらかった
9	看護師や職員が診療科を兼任している場合の給与費や人員数の算出が難しかった
10	複数の部門(診療科)で共有している場合の面積の算出が難しかった
11	要綱が分かりづらかった
12	その他(具体的に)

(2) 調査2: レセプトデータもしくはEファイル

問① 作業過程、および提出状況

(どれか1つに○をつけてください。)

1	作業は特に問題はなく、期日までに提出できた →(3)調査3に進んでください
2	ほぼ期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった
3	期日どおりに提出できなかった

問② 「問①」で2 3を選ばれた場合、貴院において作業が難しかった点、問題があると感じた点を

以下の項目から該当するものを選んでください。

(該当するもの全てに○をつけてください。複数回答可。)

1	匿名化ソフトがうまく機能しなかった
2	外来のEファイルの作り方がよくわからなかった
3	CSVファイル形式(カンマ区切り)で出力するところが難しかった
4	要綱が分かりづらかった
5	その他(具体的に)

(3) 調査3: 医師勤務に関する調査

問① 作業過程、および提出状況

(どれか1つに○をつけてください。)

1	作業は特に問題はなく、期日までに提出できた →(4)調査4に進んでください
2	ほぼ期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった
3	期日どおりに提出できなかった

問② 「問①」で2 3を選ばれた場合、貴院において作業が難しかった点、問題があると感じた点を

以下の項目から該当するものを選んでください。

(該当するもの全てに○をつけてください。複数回答可。)

1	診療科に属していない医師に関する記載方法が分かりづらかった
2	救急外来など、複数の診療科を担当している場合の記載方法が難しかった
3	診療時間以外の時間の記載方法が難しかった
4	要綱に記載されていた時間数の算出方法が分かりづらかった
5	補足調査票の記入方法が分かりづらかった
6	その他(具体的に)

(4) 調査4:手術、検査、画像診断の診療行為実施場所に関する調査

問① 作業過程、および提出状況

(どれか1つに○をつけてください。)

1	作業は特に問題はなく、期日までに提出できた →「2. 診療科別収支計算結果について」に進んでください。
2	ほぼ期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった
3	期日どおりに提出できなかった

問② 「問①」で2 3を選ばれた場合、貴院において作業が難しかった点、問題があると感じた点を以下の項目から該当するものを選んでください。

(該当するもの全てに○をつけてください。複数回答可。)

1	診療行為ごとに実施場所を特定するのは難しかった
2	要綱が分かりづらかった
3	その他(具体的に)

2. 診療科別収支計算結果について

別添の「診療科別収支計算結果」に、貴院の入院・外来合計の医業収益を「100」とした場合の、各診療科(入院・外来別)の収益、費用、収支差額の大きさを示しています。ご覧いただきながら以下の質問に回答ください。

(1) 診療科別収支計算結果

- ①「入院部門・入院計・収支差額」「外来部門・外来計・収支差額」の入院・外来の比率が、貴院の認識*と一致しますか。

(該当するものに○をつけてください。)

1	一致している
2	ほぼ一致している
3	一致していない 一致していない部門名(入院部門、外来部門)、判断された理由を記述ください。
4	不明・わからない

- ②入院部門について

診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、貴院の認識*と一致しますか。

(該当するものに○をつけてください。)

1	一致している
2	ほぼ一致している
3	一致していない 一致していない診療科名、判断された理由を記述ください。
4	不明・わからない

- ③外来部門について

診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、貴院の認識*と一致しますか。

(該当するものに○をつけてください。)

1	一致している
2	ほぼ一致している
3	一致していない 一致していない診療科名、判断された理由を記述ください。
4	不明・わからない

- ※ 「貴院の認識」とは、病院の管理会計システム等により把握されている診療科別収支に基づくもの、その他の手段により把握されている診療科別の収益・費用、病院全体を管理する立場での経験や実感に基づくものまで含みます。

(2) その他

診療科別収支結果について、特に疑問に感じた点、納得できた点、等がございましたら、以下に記入してください。

記入欄	
-----	--

3. 貴院における部門別収支の把握方法について

貴院における現在の部門別収支把握状況について、差し支えない範囲でお答えください。

(1) 部門別収支の把握

病院の部門別の収支を把握されていますか。

(どれか1つに○をつけてください。4の場合は、理由を記入してください。)

1	病院の部門別収支を把握している
2	一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している
3	把握していない
4	どちらとも言えない 記入欄(理由)

(2) 部門別収支の把握方法

上記質問で、「1 把握している」「2 部分的に把握している」を選択された方のみ

部門別収支は、どのような方法で管理・把握されていますか。

(どれか1つに○をつけてください)

1	病院の管理会計システム
2	その他のシステム 記入欄(具体例)

4. 調査全般について

上記の他、本調査研究全般に関してご意見がございましたらお聞かせください。

記入欄

貴医療機関名	
ご担当者様ご芳名	
メールアドレス	@

以上

本調査研究へのご協力、ありがとうございました。

お手数おかけしますが、上記にご記入の上、当紙面を平成19年5月15日(火)までに、下記のFAXまたはメールアドレスまでご送付お願い申し上げます。

送付先FAX番号 : 03-3506-8528

送付先メールアドレス : bumonbetsu@ihp.jp

(事後調査票 説明資料)

【診療科別収支計算結果】

	全体 収支 合計	部門別収支														
		入院部門							外来部門							
		内科	神経内科	循環器科	整形外科	脳神経外科	ハビリテーション	入院計	内科	神経内科	循環器科	整形外科	脳神経外科	麻酔科	ハビリテーション	外来計
医業収益(A)	100.0	10.0	3.0	8.0	10.0	40.0	9.0	80.0	3.0	2.0	4.0	4.0	6.0	0.0	1.0	20.0
医業費用(B)	90.0	10.0	2.0	9.0	6.0	35.0	8.0	70.0	2.0	4.0	4.0	3.0	5.0	0.0	2.0	20.0
材料費	15.0	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
給与費	50.0	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
委託費	5.0	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
設備関係費	15.0	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
研究研修費	1.1	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
経費	3.0	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
控除対象外消費税等負担額	0.6	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
本部配賦費	0.3	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
収支差額(C=A-B)	10.0	0.0	1.0	-1.0	4.0	5.0	1.0	10.0	1.0	-2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	-1.0	0.0
医業外収益(D)	2.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	1.5	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5
医業外費用(E)	4.0	0.3	0.3	0.6	0.3	1.5	0.5	3.5	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5
総収支差額(F=C+D-E)	8.0	0.0	1.0	-1.3	4.0	3.7	0.5	8.0	1.0	-2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	-1.0	0.0

事後調査票
「2. 診療科別収支計算結果について」
(1)診療科別収支計算結果 質問②
回答時にご参照ください。

事後調査票
「2. 診療科別収支計算結果について」
(1)診療科別収支計算結果 質問③
回答時にご参照ください。

事後調査票
「2. 診療科別収支計算結果について」
(1)診療科別収支計算結果 質問①
回答時にご参照ください。

- <表の見方>
- ・病院全体の医業収益を100として、各診療科別の収益と費用の大きさを算出しています。
 - ・算定結果は、中央診療部門や補助管理部門の収益及び費用を、一定の基準に基づき、入院・外来の各診療科に割り振ったものです。
 - ・各診療科は、診療報酬請求時の診療科コードに基づいた診療科となります。

(資料7) 等価係数の取扱

1. 平成18年度調査研究における取扱

- 平成18年度調査研究では、調査対象を拡大した「一般原価調査」に重点を置き、等価係数作成のための「特殊原価調査」は実施しなかった。このため本年度の部門別収支算定（三次配賦）においては、昨年度までに作成した等価係数を用いることとした。
- 具体的には、以下のルールに則って昨年度までの等価係数を使用した。
 - 平成17年度までに既に等価係数を作成しているサービス単位
 - …既に作成済の等価係数を標準化したもの（中央値）を使用
 - 平成18年度調査研究で新たに実施が確認されたサービス単位（平成17年度までに等価係数を作成していないサービス単位）
 - …活用可能な等価係数が存在しないため、他の既存の等価係数と診療報酬点数を用いた等価係数の推計値を使用

2. 等価係数推計の方法

- 上述のとおり、等価係数が存在しないサービス単位については、レセプト・データより算出される平均点数（1回当り点数）を媒介に推計を行う方法を暫定的に採用した。この等価係数推計の考え方を整理すると図表1のようになる。

図表 1

コード (サービス 単位)	H18年度までの平均点数 (実績)				H17年度までの等価計数				等価計数/平均点数 (=α)				αの平均 = Avg(α i0*)	推計 等価係数	
	A病院	B病院	...	H病院	A病院	B病院	...	H病院	A病院	B病院	...	H病院			
D100	a100	b100	...	h100	...	A100	B100	...	-	$\frac{A100}{a100}$	$\frac{B100}{b100}$...	-	「D100」α 平均	
D101	-	b101	...	h101	...	-	B101	...	H101	-	$\frac{B101}{b101}$...	$\frac{H101}{h101}$	「D101」α 平均	
D102	a102	b102	...	-	...	-	-	...	-	-	-	...	-	-	A・B病院合計の「D102」平均点数 ×「D10」α平均
D103	a103	b103	...	h103	...	A103	B103	...	H103	$\frac{A103}{a103}$	$\frac{B103}{b103}$...	$\frac{H103}{h103}$	「D103」α 平均	
D104	a104	-	...	h104	...	A104	-	...	H104	$\frac{A104}{a104}$	-	...	$\frac{H104}{h104}$	「D104」α 平均	
D105	a105	b105	...	h105	...	A105	B105	...	H105	$\frac{A105}{a105}$	$\frac{B105}{b105}$...	$\frac{H105}{h105}$	「D105」α 平均	
D10平均														「D10」α 平均	
D200	a200	b200	...	-	...	A200	B200	...	-	$\frac{A200}{a200}$	$\frac{B200}{b200}$...	-	「D200」α 平均	
D201	a201	-	...	h201	...	A201	-	...	H201	$\frac{A201}{a201}$	-	...	$\frac{H201}{h201}$	「D201」α 平均	

■ 図表1の例では、サービス単位「D102」の等価係数を推計している。

(手順)

- ①他の「D10」で始まるサービス単位は等価係数が存在しているので、各サービス単位での「各病院の等価係数」と「各病院の平均点数」の比(α)を求める。
(H17年度までの病院毎の等価係数が、それぞれの診療報酬区分の平均点数(実績)の何倍になっているかを求める)
- ②病院毎の等価係数と平均点数の比(α)をサービス単位で平均する。
- ③その α の平均値を「D10」全体で平均する(「D10」 α 平均)。
- ④これに既知の値である「D102」の平均点数^{*1}を掛け、等価係数の推計値^{*2}とする。
(診療報酬区分「D10*」全体での等価係数と平均点数の比の平均が、等価係数のないサービス単位についても成り立つものとして算出する。)

^{*1} 図表1「D102」の平均点数は、「D102」サービスを提供しているA病院、B病院全体の平均点数となる。

(「D102」平均点数 = Σ (D102の各サービスの点数×回数) / 総回数)

^{*2} 今回の等価係数の推計値は、「既存の等価係数と点数との関係(比)」の平均から算出したものである。この「既存の等価係数と点数との関係(比)」の算出に使用する等価係数については、より多くの病院データを反映させることが望ましいとの観点から、サービス毎の「標準的等価係数(中央値)」を用いるのではなく、「既存の各病院の等価係数」を用いることとした。
(「標準的等価係数」はサービス種類毎の中央値であるため、これを用いると「等価係数と点数との関係(比)」に反映される病院は限定されることになる。)

(資料8) 事後調査票集計結果

医療機関の部門別収支に関する調査研究 事後調査票集計結果

「事後調査票」(報告書「3.5. 事後調査」)の回答について、回答病院64病院のうち分析対象病院(40病院)、分析対象外病院(24病院)ごとに集計したもの。

1. データの作成・提出状況

(1) 調査1. 収支計算ファイル

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n=64	
	n=40	n=24	n	%	n	%
作業は特に問題はなく、期日までに提出できた	3	8%	1	4%	4	6%
期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった	33	83%	18	75%	51	80%
期日どおりに提出できなかった	4	10%	5	21%	9	14%

(2) 調査2. レセプトデータもしくはEファイル

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n=64	
	n=40	n=24	n	%	n	%
作業は特に問題はなく、期日までに提出できた	35	88%	18	75%	53	83%
期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった	5	13%	6	25%	11	17%
期日どおりに提出できなかった	0	0%	0	0%	0	0%

(3) 調査3. 医師勤務に関する調査

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n=64	
	n=40	n=24	n	%	n	%
作業は特に問題はなく、期日までに提出できた	9	23%	4	17%	13	20%
期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった	29	73%	16	67%	45	70%
期日どおりに提出できなかった	2	5%	4	17%	6	9%

(4)調査4. 手術、検査、画像診断の診療行為実施場所に関する調査

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n= 64	
	n= 40		n= 24		n	%
	n	%	n	%	n	%
作業は特に問題はなく、期日までに提出できた	17	43%	5	21%	22	34%
期日までに提出できたが、作業が難しい箇所があった	22	55%	16	67%	38	59%
期日どおりに提出できなかった	1	3%	3	13%	4	6%

2. 診療科別収支計算結果について

「2. 診療科別収支計算結果の検証」と「3. 部門別収支の把握状況、把握方法」とのクロス集計を実施したもの。

(1) 診療科別収支計算結果

①「入院部門・収支差額」「外来部門・収支差額」の入院・外来の比率が、貴院の認識と一致しますか。

2. (1)①入院・外来の比率が、認識と一致するか		対象		3. (1) 部門別収支の把握状況		3. (2) 部門別収支の把握方法			
		対象	対象外	対象	対象外	対象	対象外		
1	一致している	1	1	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム	1	
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している			病院の管理会計システム		
				把握していない		1	病院の管理会計システム		
				どちらとも言えない			病院の管理会計システム		
2	ほぼ一致している	29	11	病院の部門別収支を把握している	4	3	病院の管理会計システム	1	3
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	13	3	病院の管理会計システム	6	2
				把握していない	8	4	病院の管理会計システム	7	1
				どちらとも言えない	4	1	病院の管理会計システム		
3	一致していない	3	4	病院の部門別収支を把握している		1	病院の管理会計システム		1
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	3		病院の管理会計システム	2	
				把握していない		3	病院の管理会計システム	1	
				どちらとも言えない			病院の管理会計システム		
4	不明・わからない	7	5	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム	1	
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	3	2	病院の管理会計システム		1
				把握していない	1	2	病院の管理会計システム	3	1
				どちらとも言えない	2	1	病院の管理会計システム		
記載なし			3	病院の部門別収支を把握している			病院の管理会計システム		
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している		3	病院の管理会計システム		1
				把握していない			病院の管理会計システム		2
				どちらとも言えない			病院の管理会計システム		
				記載なし			病院の管理会計システム		
合計		40	24		40	24		25	12

②入院部門についての診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、貴院の認識と一致しますか。

2. (1) ②入院部門の診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、認識と一致するか		3. (1) 部門別収支の把握状況		3. (2) 部門別収支の把握方法					
		対象	対象外	対象	対象外	対象	対象外		
1	一致している	1	2	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム	1	
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している			その他のシステム		
				把握していない		2	病院の管理会計システム		
				どちらとも言えない			病院の管理会計システム		
2	ほぼ一致している	21	8	病院の部門別収支を把握している	2	3	病院の管理会計システム	1	3
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	10	3	その他のシステム	1	
				把握していない	8	2	病院の管理会計システム	5	2
				どちらとも言えない	1		その他のシステム	5	1
3	一致していない	9	3	病院の部門別収支を把握している	1	1	病院の管理会計システム		1
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	7		その他のシステム	1	
				把握していない		1	病院の管理会計システム	3	
				どちらとも言えない	1	1	その他のシステム	4	
4	不明・わからない	8	8	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム	1	
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	2	2	その他のシステム		1
				把握していない	1	5	病院の管理会計システム	2	1
				どちらとも言えない	4	1	その他のシステム		
記載なし	記載なし	1	3	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム		
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している		3	その他のシステム	1	
				把握していない			病院の管理会計システム		1
				どちらとも言えない			その他のシステム		2
				記載なし			病院の管理会計システム		
合計		40	24		40	24		25	12

③外来部門についての診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、貴院の認識と一致しますか。

2. (1) ③外来部門の診療科別「収支差額」の各診療科の割合が、認識と一致するか。		3. (1) 部門別収支の把握状況		3. (2) 部門別収支の把握方法					
		対象	対象外	対象	対象外	対象	対象外		
1	一致している	1	1	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム	1	
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している			他のシステム		
				把握していない		1	病院の管理会計システム		
				どちらとも言えない			他のシステム		
2	ほぼ一致している	24	8	病院の部門別収支を把握している	3	3	病院の管理会計システム	2	3
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	12	3	他のシステム	1	
				把握していない	8	2	病院の管理会計システム	7	2
				どちらとも言えない	1		他のシステム	5	1
3	一致していない	7	4	病院の部門別収支を把握している	1	1	病院の管理会計システム		1
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	5		他のシステム	1	
				把握していない		2	病院の管理会計システム	4	
				どちらとも言えない	1	1	他のシステム		
4	不明・わからない	6	8	病院の部門別収支を把握している			病院の管理会計システム		
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	1	2	他のシステム		1
				把握していない	1	5	病院の管理会計システム	1	1
				どちらとも言えない	4	1	他のシステム		
記載なし	記載なし	2	3	病院の部門別収支を把握している	1		病院の管理会計システム		
				一部未対応の部分はあるが、部分的に部門別の収益・費用を把握している	1	3	他のシステム	1	1
				把握していない			病院の管理会計システム	1	2
				どちらとも言えない			他のシステム		
				記載なし			病院の管理会計システム		
合計		40	24		40	24		25	12

(2)その他

診療科別収支結果について、特に疑問に感じた点、納得できた点、等がございましたら、以下に記入してください。

<分析対象病院>

- 1) 中央診療部門への収益の配賦基準を定める事が困難であった。
- 2) ① まず、診療科の分類(1-③部門設定には呼吸器科が存在する)に差異があるため、どの様に集約されているのかが不明。
②その為、呼吸器内科の損益分が医業収益や医業費用に反映されず差が生じている。
- 3) 収支に関する整備不足をみとめた。
- 4) 内科以外の外来部門は、他でも赤字傾向となるデータが公表されており、当院でも納得できた。間接人件費の配賦基準。
- 5) 診療科別の収支に研修医の分は含めない方が良いのではないか。(一年次は特に)…研修医の立場は、基本的には指導医についてまわっている為、人件費等を診療科に振ってしまうと、正確な診療科別収支にならないのではと思う。
- 6) 全体収支データのその他の医業収益に小児科の助成金が含まれていたため、按分されて、小児科の収益が思ったより少なかった。
- 7) 入・外の収支差額が当院で認識しているものとあまり相違がなかった。とりわけ、給与費と設備関係費が突出しているが設備関係費が認識しているものよりも多いと感じた。
- 8) 入院部門、循環器科の収支がマイナスになっているのが疑問である。
- 9) 部門別収支を把握するのに必要な項目は、DPC調査のコスト推計データと類似しており納得できた。
所属が決まっていない職員の給与配分など、配分不能な部分をマクロ的にデータの穴埋めをする部分があり疑問であった。
- 10) 麻酔科と手術部門との振り分けが疑問。
- 11) 割合による検証ではなく、実際の金額データでの違いを見たい。また、本院の原価計算方法が医療経済の勘定科目による配分方法とすこし食い違いがあるため、正確な検証ができない。

<分析対象外病院>

- 1) 検診・人間ドックは別事業として外来保険診療とは区分して管理しているので、合算した形での数字の意味を見出すことが難しい。
- 2) 非常に参考になった。外来部門の収支率に問題があるのでは?と思い検討を行うきっかけとなった。
- 3) Eファイルに記載の10月診療分の入外区分データが活用されていないため、診療科毎の入院・外来収益の配分ができていない。全て01コード(内科)に集約されているが、Eファイルの01区分の右どなりの3桁区分コード番号により配分できる。
- 4) 各科への割り振りが難しく、今後の対応として検討していきたい。細かく確実に割り振ることが実態に近い数字になり活かせると思う。
- 5) 各診療科に振分できない共通的な部分を内科にまらめたせいか、内科の収支に偏りがあるように感じられる。

3. 貴院における部門別収支の把握状況・把握方法

(1) 部門別収支の把握

病院の部門別の収支を把握されていますか。

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n=64	
	n=40		n=24			
	n	%	n	%	n	%
1.病院の部門別収支を把握している	6	15%	4	17%	10	16%
2.部分的に部門別収支を把握している	19	48%	8	33%	27	42%
3.把握していない	9	23%	10	42%	19	30%
4.どちらとも言えない	6	15%	2	8%	8	13%

(2) 部門別収支の把握方法

上記質問で、「1 把握している」「2 部分的に把握している」を選択された方のみ
部門別収支は、どのような方法で管理・把握されていますか。

	分析対象・対象外				総計	
	分析対象		分析対象外		n=37	
	n=25		n=12			
	n	%	n	%	n	%
1.病院の管理会計システム	11	44%	8	67%	19	51%
2.その他のシステム	14	56%	4	33%	18	49%

4. 調査全般について

本調査研究全般に関してご意見がございましたらお聞かせください。

<分析対象病院>

- 1) 大変有益な調査をいただき、ありがとうございました。
- 2) 実施場所について按分をおこなっているのですが、本当の実態を表しているとは言い切れない部分がある。
- 3) このデータを元に医師に報告し、効率的経営に役立たせるには、もっとデータの精度を高めなければならない。これは当院の統計処理の問題だが、どこの病院も同じような感想を持っているのではないかと。相当な人件費をかけて原価計算をするメリットが今のところ感じられない。
- 4) この部門別収支計算が確立されれば、他病院との比較ができるため、ますますこの調査をすすめていただくことを希望する。
- 5) 病院部門の収益が判断できる資料となり経営判断上有益。間接部門の収支が分かると良い。
- 6) 一病棟に特定の診療科を配置していない混合病棟のため、医業収益に関する情報が特定しにくい感じがした。医事会計システムにより各科入院外来の収益はすぐに出るが、それプラス病棟別に把握すると混合病棟である当院では対応が難しく困難な作業となった。
- 7) 病院の外来機能の持ち方によっては、今回の調査の様に外来をベースとした診療科の設定がうまくあてはならない例があるだろう。
- 8) 今後の病院運営を考える上で、今回の調査に関して病院全体の問題として整備し、データの信用性を向上させる事が重要であると認識させられた。まだ未整備の段階ではあるが、本調査研究に参加できたことに感謝。
- 9) 今後業務の効率化及び他病院との同一基準でのベンチマークにおいて当院の位置づけを明確にしたい。
- 10) 事前説明会を開催して欲しかった。この調査作成は、どの医療機関でも苦勞される事が予想されたはずで、それを説明書だけで対応することは、かなり無理があったのではないかと。各医療機関におけるデータ作成のやりかたや、その精度も一定ではないことが想定されるため、データの信頼性があまり無いのでは。また、集められたデータをどのように集計して、どのように表していくのか、その内容がもっと具体的に示されていれば、データ作成の方法をもう少し変えることができ、精度も上がっていたのではと考える。
- 11) 他院との比較（ベンチマーキング…同等病床も含めて）がしたい。期日の期限が少し短い。調査期間が決まっているのであれば、数ヶ月前から知らせて欲しい。通常の業務も行っているため、準備期間がほしい。
- 12) 当院ではシステムが未導入のため部門別収支等の把握が難しく、データに基づいた按分が難しかった。
- 13) 当院では部門別の把握ができていないところがあり、この機会に確立することがひとつの目的だった。そのため可能であれば計算を行った機能をご提示していただくと非常に助かる。
- 14) 当院の管理会計システムとの解釈の違いによる分類が違った為、非常に難しかった。
- 15) 部門別収支把握が出来る体制が整っていないため今回の調査において大変であった。
- 16) 明確なガイドラインがあれば、もう少し適切で精度の高いデータ提出が出来たと思う。
- 17) 収支算定について、本院からの提出データによる算出根拠を具体的にご教示していただくと、本院の手法の見直しなどの参考になる。

<分析対象外病院>

- 1) 入院・外来とも収益が内科に配分されているのは、E ファイルに診療科区分の情報が入っていなかったことにより、収支計算がうまくいっていないものと推察する。提出した平成 18 年 10 月分の E ファイルデータは、3 桁の診療科区分コード番号により診療科が分かるように表示されており、何が原因でこのようになったのかわからない。
- 2) 今回この調査に参加し、改めて経営的観点から部門別原価計算の利用方法を考えさせられ、部門に分ける必要性に疑問を感じた。当院の分類基準は①主病名②担当医で分けているが、入力担当者の判断で、複雑な診療行為を 1 つの診療科に分類 (科別・部門別) している。担当者によって分類上食い違うケースもある。院内でも部門別計算の収入計上方法を巡っていろいろな論議が繰り返されており、当院に合った「部門別」の有効な利用方法を模索している最中である。費やした資源に対し適正な報酬か否かを見る際に、原価や人件費が診療報酬体系の中で決定されているところに限界もあるように思える。現状の診療報酬体系自体が真の意味で各々の行為の適切な原価に見合う報酬ということで設定されているものではない中で、病院全体で赤字を出さない人件費や原価・経費に抑制している実態で、どんなに細かく分析したとしても、所詮その範囲でのことではないかと考える。厳しい医療費抑制策が継続している現状での調査は、結果の活用についてもその辺りの現状認識が前提となるべきだと切望する。
- 3) 業務が多く対応できなかった。
- 4) 共通的、間接的に使用 (実施) している空間、人材、診療行為を除外して統計処理したほうがよいのでは? 添付ファイルに、「E ファイルに診療科不明のレコードがかなりあったため、当ファイルを用いずに算定を行いました。このため、算定がうまくできていない可能性があります。」というメモが挿入されていたが、E ファイル全体を用いなかったということか? それとも、部分的に使用しなかったということか? 算定結果をみると、入院部門の循環器科、呼吸器科を内科としてまとめられているようなので、循環器科、呼吸器科の診療科が診療科不明のレコードとして扱われているのではないかと。
- 5) 当院は D P C 対象なので、医業収益のデータ作成時、D P C に基づくデータなのか、出来高に基づくデータなのか一瞬迷った。次回より、具体的な指示があれば助かる。